

第2編

地域別構想

I 地域別構想とは

II 地域別構想

I 地域別構想とは

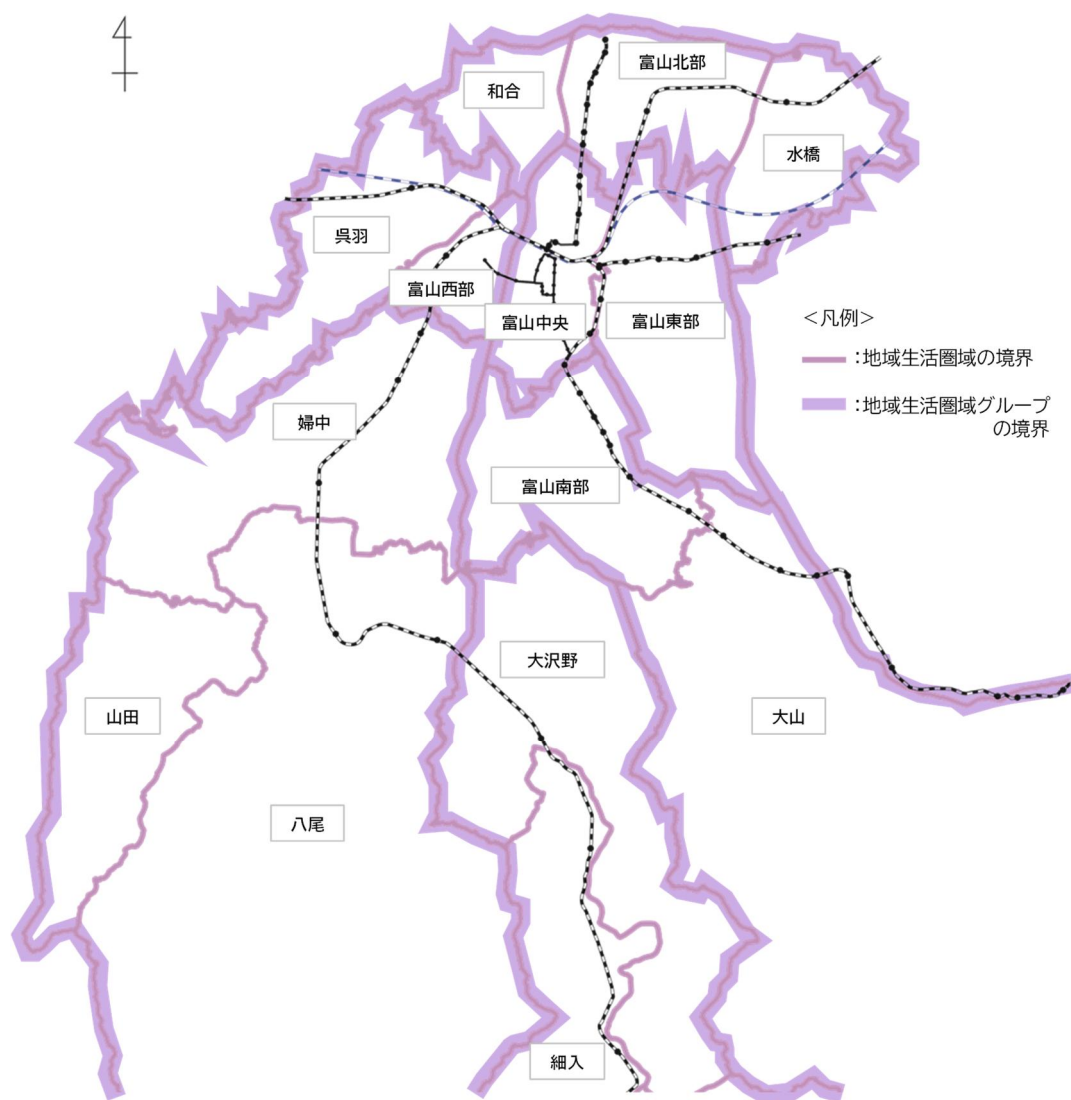
1 地域別構想とは

地域別構想は、全体構想に示した取組方針などを受け、各地域の現状や課題に対応したまちづくり目標を設定し、実現するためのまちづくり方針を明らかにするものです。地域別構想の策定にあたっては、各地域の現況特性や全体構想における位置付け、市民アンケート結果を踏まえつつ、市民ワークショップで出されたアイデアなどを参考としながら、地域のまちづくり目標や主な取組・分野別の方針を設定します。

2 地域区分

地域別構想における地域区分は、14 地域に設定します。なお、地形的特性や市民の生活行動（買い物、通勤・通学や通院）から、つながりが強い地域同士をグループとして整理します。

■地域生活圏域とグループ



Ⅱ 地域別構想

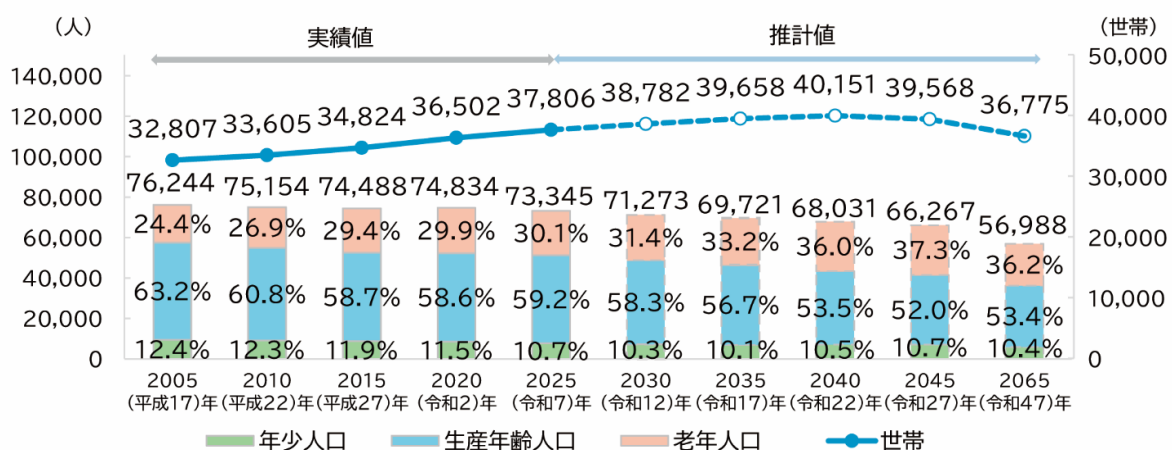
1 富山中央地域

(1) 地域の現状

①人口・世帯数

人口は減少傾向にあり、2025（令和7）年の人口は、73,345人、高齢化率が約3割となっており、今後、世帯数は2040（令和22）年頃にピークを迎え、減少に転じる見込みです。

■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

②歴史・文化

地域内には、日枝神社や護国神社をはじめとする寺社仏閣に加え、富山市郷土博物館や池田屋安兵衛商店、富山市ガラス美術館などが立地し、歴史・芸術文化の拠点となっています。また、富山駅北側には、治水の歴史を学ぶことができる富岩運河や国の重要文化財の中島閘門があります。

③自然・レクリエーション・景観

市街地を流れる松川・いたち川は、桜の名所として市民に親しまれ、潤い空間となっています。城址公園をはじめ、稻荷公園や布瀬南公園、神通川緑地は、自然を身近に感じることができる市民の憩いの場となっています。

また、城址大通りなどでは、通りを美しく彩るフラワーハンギングバスケットやバナーフラッグを設置し、魅力ある都市景観を創出し、質の高い景観形成を図っています。

④公共交通

富山駅を中心に鉄軌道やバス路線などが結節し、公共交通の徒歩圏が地域の大部分をカバーしている利便性が高い環境にあります。

⑤土地利用

都市的土地利用が最も進んでおり、住宅用地及び商業用地の割合が高くなっていますが、低未利用地が全域に点在しています。都心地区や幹線道路沿線では、主に商業用地が分布していますが、それ以外の地域では、住宅用地とその他の用途が混在しています。また、富岩運河沿いには、工業用地が広がっています。

⑥災害リスク

富山駅をはじめ、多くの都市機能が集積する地域ですが、旧河道などの地形条件により、洪水などの豪雨を起因とした災害が懸念されます。

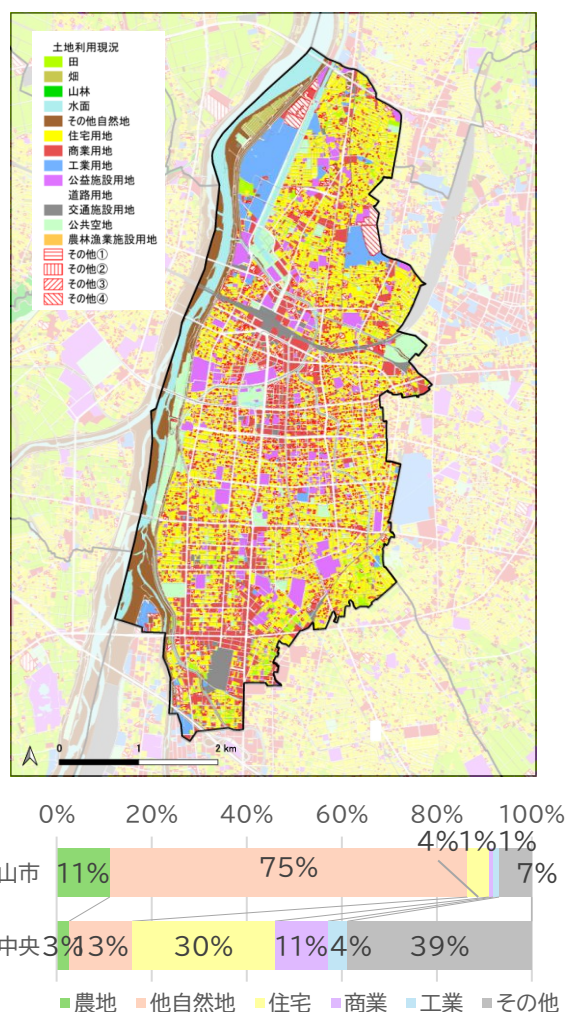
⑦生活行動

日常の買い物や通院、文化やスポーツの約8割、通勤・通学の約7割、その他の買い物の約6割が、自地域内で行われています。

⑧地域のつながり

様々な地域とのつながりがありますが、特に地形的には富山東部地域と強いつながりがあります。

■土地利用現況と面積比率



出典：都市計画基礎調査（令和5年度）

<市民ワークショップでの提案>

《地域の魅力》	<p>◇中心市街地の多様な機能集積 （富山城、ホールや美術館、商業施設の集積など）</p> <p>◇中心部の賑わい・誇り （飲食店の立地、山王さんやチンドンなどの祭、延命地藏尊などの水の豊かさ、松川の桜や神通川の花火など）</p> <p>◇住みやすさ・歩いて暮らせる （施設や公共交通の集積、充実した教育環境、医療や高齢者施設の立地、富岩運河環水公園などの大きな公園）</p>
《20年後の地域の将来イメージ》	<p>『おしゃれ、スマート、はっぴー』</p> <p>『若い女性が住みやすいまち』</p> <p>『歩ける、歩きたくなるまち＝安全、楽しい、住み続けたいまち』</p>

(2) まちづくりの目標

富山中央地域では、多くの市民や来街者が利用する拠点性、都市の諸機能の集積、水辺や緑、城址公園をはじめとした歴史文化資源などを活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。

i) 質の高い生活や豊かな都市活動が生まれる都心地区の形成

全ての鉄軌道が結節し多くの市民や来街者が利用する拠点性や、都市の諸機能の集積を活かし、商業・業務の活性化、市民・来街者の交流促進、都市機能の充実などを図ります。

ii) 本市の“顔”としての都心コアエリアの形成

路面電車環状線周辺では、広域的な都市機能の集積を活かし、都市の緑やウォークアブルな空間の整備などによる都市空間の質の向上、商業・業務機能のさらなる充実を図り、社会経済活動を牽引する“本市の顔”としての市街地を形成します。

iii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成

公共交通の活性化と連携して、沿線の諸機能を活かし、既成市街地の更新や都心コアエリアの魅力を高めることで、車に頼らずに生活できる良好な居住環境を形成します。

iv) 人中心の快適で賑わいのある都市空間の形成

徒歩や公共交通で安全快適に回遊でき、人と人との出会いが生まれる都市空間を形成します。

v) 都市の水辺や緑、歴史文化資源に親しめる場の形成

松川・いたち川、城址公園などを活かし、市民や来街者が都市の水辺空間や緑、歴史文化に親しめる場を形成します。

iv) 安全・安心なまちの形成

洪水などの災害リスクの回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を進めます。

(3) 分野別の方針

①土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none">・ 富山駅周辺～総曲輪地区にかけた市街地は、広域商業地区として位置付けます。特に都心コアでは、再開発や中心商店街の活性化などを進めながら、中核的な商業機能を誘導するとともに、集客力のあるスポーツ・レクリエーション機能や、教育文化、業務、医療、福祉などの多様な機能を誘導し、まちなかの賑わいや魅力の向上を図ります。また、商業などの生活関連機能の集積を活かしたまちなか居住を推進します。・ 都心地区から放射状に伸びる国道 41 号などの幹線道路や（都）草島東線などの環状道路の沿道は、沿道商業地区として位置付け、沿道商業機能の適正な立地を図ります。
産業系	<ul style="list-style-type: none">・ 富岩運河西側や下奥井駅東側の既存工業地は、工業地区に位置付けるとともに、将来、土地利用の転換が発生する場合には、周辺を考慮した土地利用の見直しを行います。・ 富山市公設地方卸売市場周辺は、流通業務地区として位置付け、流通業務に関連した店舗や事業所などの誘導を図ります。
住宅系	<ul style="list-style-type: none">・ 神通川沿いなどは、住宅専用地区として位置付け、良好な住環境の形成を図ります。・ 富山港線沿線や南富山駅周辺などは、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区とし、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地として形成します。・ 広域商業地区周辺や富山市公設地方卸売市場南側などは、複合用途地区とし、商業・業務と居住との調和がとれた住宅地として形成します。・ 公共交通が便利な圏域では、公共交通の活性化や生活関連機能の充実と併せて居住の誘導を図ります。・ 空き地・空き家の適正な管理や有効活用などにより、安全・安心な住環境の形成に努めます。

②交通体系の方針

公共交通

- ・ 鉄軌道（あいの風とやま鉄道線、富山地方鉄道本線、不二越・上滝線、高山本線、富山港線及び路面電車）の利便性向上と持続可能性の確保を図るため、ダイヤの改善、老朽化した施設・設備の更新や改良などを進めます。
- ・ 公共交通軸であるバス路線は、快適性の向上など機能強化を推進します。
- ・ 生活の足の確保を図るため、生活バス路線の維持やまいどはやバスの機能確保に努めるとともに、シェアサイクルなどの身近な移動手段により、移動環境の充実を図ります。
- ・ 富山駅周辺では、交通結節機能の強化を図るため、連続立体交差事業や都市計画道路などの整備を推進します。
- ・ 南富山駅周辺では、交通結節機能の強化、文教地区の特性を活かした副次都市拠点の形成を図るため、駅前広場や駅関連施設などの整備を推進します。

道路

- ・地域高規格道路の富山外郭環状道路の一部である国道8号中島本郷立体・豊田新屋立体などの整備を促進します。
- ・都心地区と各拠点とを連絡する(都)下新西町上赤江線・(都)呉羽町袋線などの整備を進めます。
- ・富山駅周辺の円滑な交通の確保を図るため、(都)富山駅横断東線・(都)堀川線などの整備を推進します。
- ・良好な市街地景観の形成を図るため(都)堀川線などでの無電柱化を進めます。
- ・神通大橋(上流側)及び宮下橋・千歳橋・八幡橋の更新、神通大橋(下流側)の大規模修繕など、橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。
- ・路面標示による自動車から分離された走行空間の確保など、自転車利用環境の改善を図ります。

③その他の都市施設・機能の方針

公園緑地・まちの緑、レクリエーション

- ・城址公園や県庁前公園(周辺)、富岩運河環水公園は、富山らしさを象徴する公園として利活用の推進、機能充実に向けた整備に努めます。また、地区公園である栗島公園を整備します。
- ・神通川緑地を核に、スポーツ・レクリエーションの場の形成を図ります。
- ・旧小学校跡地などの公有地を活用し、新たな都市機能の整備を進めます。

河川・水路、上水道、下水道

- ・富岩運河や松川・いたち川の環境保全を図るとともに、周辺施設と一体となった魅力ある水辺空間の形成に努めます。
- ・神通川右岸では、堤防の強化を図るため、堤防改良事業を促進します。
- ・避難所や緊急輸送道路下などにおける上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・松川処理分区などにおいて下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・市民が安全に生活できるよう松川第一排水区などにおいて浸水対策を推進します。

④都市の質に関する方針

環境、景観、ユニバーサルデザイン

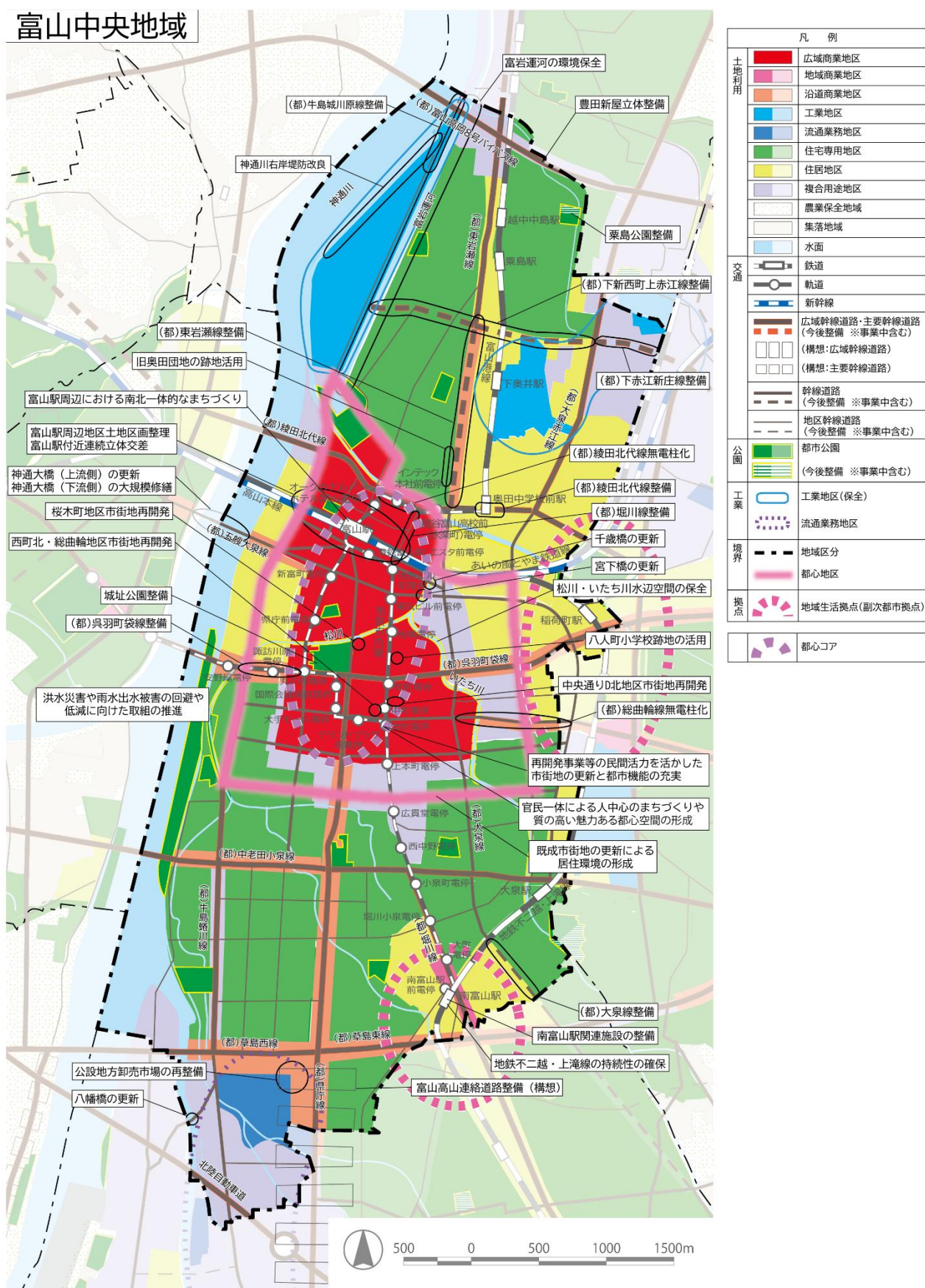
- ・都心地区などの公共交通が便利な圏域を中心に、誰もが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保や公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。
- ・都心コアでは、本市の顔として、再開発事業などによる良好な居住環境整備、賑わい創出につながる機能の更新・充実を推進するとともに、街路緑化・無電柱化、建築物・広告物の形態・位置・色のコントロールなどにより特色ある都市景観の形成を図り、誰もが歩いて楽しく、賑わいや活気にあふれるウォーカブルな空間づくりを推進します。

防災・防犯

- ・洪水や雨水出水など危険性の高い箇所では、そのリスクに応じて、居住誘導や新市街地の整備の抑制、災害リスク情報の周知・啓発などにより被害を回避・軽減するための取組を進めます。
- ・居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

■まちづくり方針図

富山中央地域



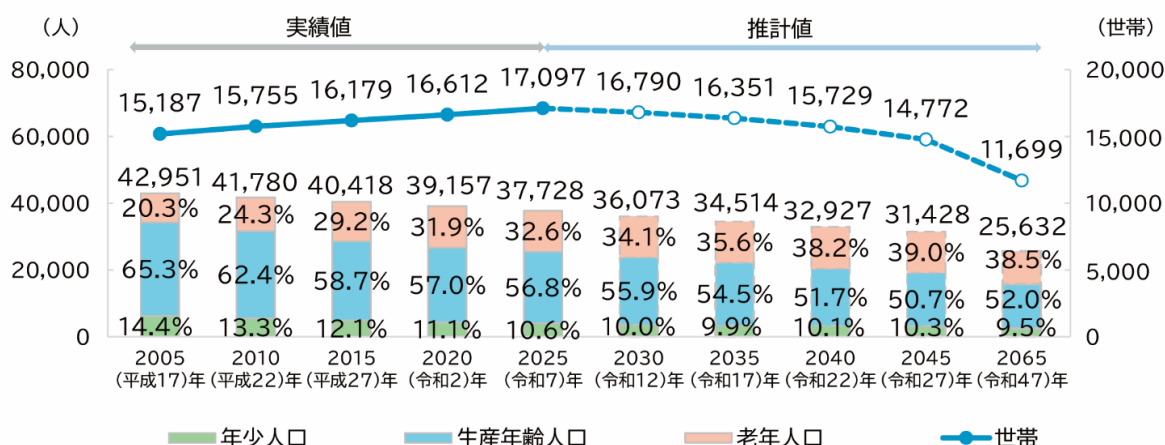
2 富山北部地域

(1) 地域の現状

①人口・世帯数

人口は減少傾向で、2025（令和7）年の人口は37,728人、高齢化率が32.6%と3割を超え、今後は世帯数も減少に転じ、高齢化率も4割に近づく見込みです。

■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

②歴史・文化

岩瀬地区には、国の重要文化財である旧森家住宅や国の登録有形文化財である旧馬場家住宅などの文化財建築物が歴史的町並みを形成し、歴史文化の学習拠点となっているほか、地域のつながりを強める、地域固有の祭りも行われています。

③自然・レクリエーション・景観

沿岸部では、富山港や3つの運河（富岩、岩瀬、住友）が整備され、水上ラインや遊歩道での散策などにより、気軽に水辺に親しむことができます。

富山湾、神通川、常願寺川、豊かな田園地帯があり、立山連峰を一望することができます。

海岸沿いには、海水浴場やキャンプ場があり、マリンスポーツや散策を楽しむことができます。富山市民球場や東富山運動広場などのスポーツ施設も充実しています。

また、豊富な地下水を活用した温泉施設も集積しています。

④公共交通

富山港線の各駅やあいの風とやま鉄道線の東富山駅が立地し、複数のバス路線や富山港線に接続するフィーダーバスなどがあります。

⑤土地利用

富山港線沿線や国道8号沿い、東富山駅周辺を中心に、住宅と商業用地が混在した市街地が広がっており、運河周辺やエコタウンには、大規模な企業団地が整備されています。

また、富山港線沿線で小規模な低未利用地が存在しており、畑や水田などの農地が地域の3割、住宅用地が地域の1割を占めています。

⑥災害

氾濫平野と臨海部に形成された木造住宅の密集地や住宅地で、要配慮者利用施設も多く、地震時の津波や、洪水など豪雨を起因とした災害が懸念されます。

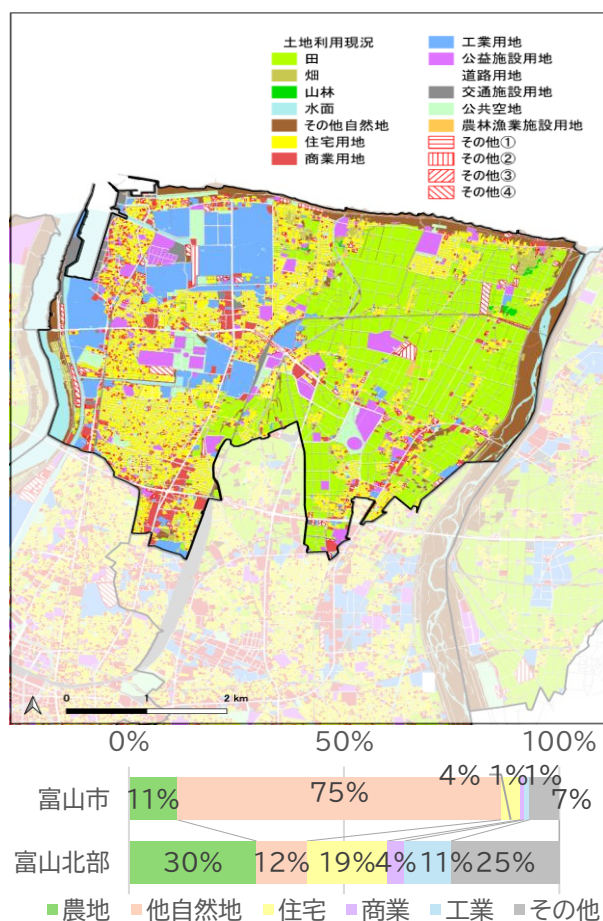
⑦生活行動

日常の買い物の約7割、通院の約6割が自地域内で行われていますが、通勤・通学やその他の買い物は、約2割程度となっています。

⑧地域のつながり

地形や環境、市民の生活行動から、和合地域や水橋地域と強いつながりがあります。

■土地利用現況と面積比率



出典：都市計画基礎調査（令和5年度）

<市民ワークショップでの提案>

<p>《地域の魅力》</p>	<p>◇海の観光資源 （岩瀬浜などの海水浴場やキャンプ場、岩瀬の港、カニやエビなどの海産物、富岩運河、富山湾岸サイクリングロード、立山連峰などの眺望）</p> <p>◇岩瀬を中心とした歴史文化資源 （岩瀬のまちなみ、森家・馬場家などの建築、酒蔵、岩瀬曳山車祭など）</p> <p>◇公共交通の利便性の良さ、住みやすさ （鉄道・フィーダーバス路線・富岩運河水上ラインなどの多様な交通、岩瀬スポーツ公園やアルペンスタジアムなどの施設が充実、豊富な温浴施設）</p>
<p>《20年後の地域の将来イメージ》</p>	<p>『海を五感で楽しむ 住みよい街』</p>

(2) まちづくりの目標

富山北部地域では、岩瀬の歴史文化資源、商業施設などの集積、公園や球場などのスポーツ施設、海辺のレジャー施設などを活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。

i) 歴史文化資源を活かした富山港線沿線での生活拠点の形成

東岩瀬駅周辺から萩浦小学校前駅周辺において、公共交通の利便性と歴史文化資源、商業施設・病院などが集積する環境を活かし、生活サービスや文化・交流機能の維持・充実を図ります。

ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成

あいの風とやま鉄道線や富山港線の活性化と連携して、沿線の諸機能を活かし、また既存市街地の更新を促すことで、良好な居住環境を形成します。

iii) スポーツ施設やレジャー施設を活かしたレクリエーションの場の形成

岩瀬スポーツ公園や富山市民球場（アルペンスタジアム）、海水浴場・浜黒崎キャンプ場、温浴施設などを核に、市民や来街者がレクリエーションに親しめる場を形成します。

iv) 海岸などの自然環境や水田など営農環境の保全

海岸などの豊かな自然環境や水田などの営農環境の保全を推進します。

v) 富山港や国道8号との結節性を活かした産業集積の保全や誘導

富山港や国道8号との結節性を活かし、エコタウンをはじめとした産業集積の保全・誘導を図ります。

vi) 安全・安心なまちの形成

津波などの災害リスクの回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を推進します。

(3) 分野別の方針

①土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活拠点である東岩瀬駅周辺から萩浦小学校前駅周辺は、地域商業地区として位置付け、富山港線の活性化と併せて、最寄り品小売業や金融機関、公共施設の充実を図ります。
産業系	<ul style="list-style-type: none"> ・臨海部や運河沿いの既存工業地は、工業地区として位置付け、重化学工業や大規模工場を主体とした産業集積を図ります。また、国道8号沿線は工業地区として位置付け、産業の集積を図ります。 ・エコタウン産業団地では、資源循環施設の誘導に努めます。
住宅系	<ul style="list-style-type: none"> ・住友運河以南は、戸建住宅を主体とした住宅専用地区として位置付け、良好な住環境の形成を図るとともに、住友運河以北は、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区として位置付け、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地として形成します。 ・臨海部などの工業地区の周辺は、複合用途地区として位置付け、生産機能と関連する流通業務やサービス機能と居住との調和がとれた住宅地として形成します。 ・公共交通が便利な圏域では、公共交通の活性化や生活関連機能の充実と併せて居住の誘導を図ります。 ・空き地・空き家の適正な管理や有効活用を通じて、安全・安心な住環境の維持・活性化を促進します。
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の東部に位置する農地は、農業保全地域として、虫食いの農地転用を抑制し、良好な営農環境を保全します。 ・集落地域では、既存コミュニティを活かし、良好な生活環境の形成に努めます。

②交通体系の方針

公共交通

- ・あいの風とやま鉄道線及び富山港線の利便性向上と持続可能性の確保を図るため、ダイヤの改善、老朽化した施設・設備の更新や改良などを進めます。
- ・公共交通軸である幹線バス路線やフィーダーバス路線は、快適性の向上など機能強化を図るとともに、生活の足を確保するため、生活バス路線の維持に努めます。
- ・東富山駅や蓮町駅の周辺では、バスとの連携強化やパーク＆ライド駐車場の充実による利用圏の拡大に努めます。
- ・新富山口駅周辺では、駅周辺の交通環境や利用状況などを踏まえ、駐車場の充実など利用環境の改善や利用圏域の拡大に努めます。

道路

- ・地域高規格道路である富山外郭環状道路の一部である国道8号豊田新屋立体の整備を促進します。
- ・臨海工業地帯と都心地区を連絡する（都）東岩瀬線などの整備を促進します。
- ・鉄道駅へのアクセス道路として（都）東富山駅前線などの整備を促進します。
- ・橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。

③その他の都市施設・機能の方針

公園緑地・まちの緑、レクリエーション

- ・良好な住環境形成に向けて、近隣公園である森公園や下富居公園を整備します。
- ・岩瀬浜、浜黒崎海岸、富岩運河などの一帯では、岩瀬の港や海水浴場、浜黒崎キャンプ場、温泉・飲食店などの地域資源を連携するレクリエーションの場の形成に努めます。

河川・水路、上水道、下水道

- ・常願寺川左岸では、堤防の強化を図るため、浸透対策事業を促進します。
- ・避難所や緊急輸送道路下などにおける上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・浜黒崎浄化センターなどにおいて下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・土地利用に即した下水道整備のあり方を検討します。
- ・市民が安全に生活できるよう岩瀬第一排水区において浸水対策を推進します。

④都市の質に関する方針

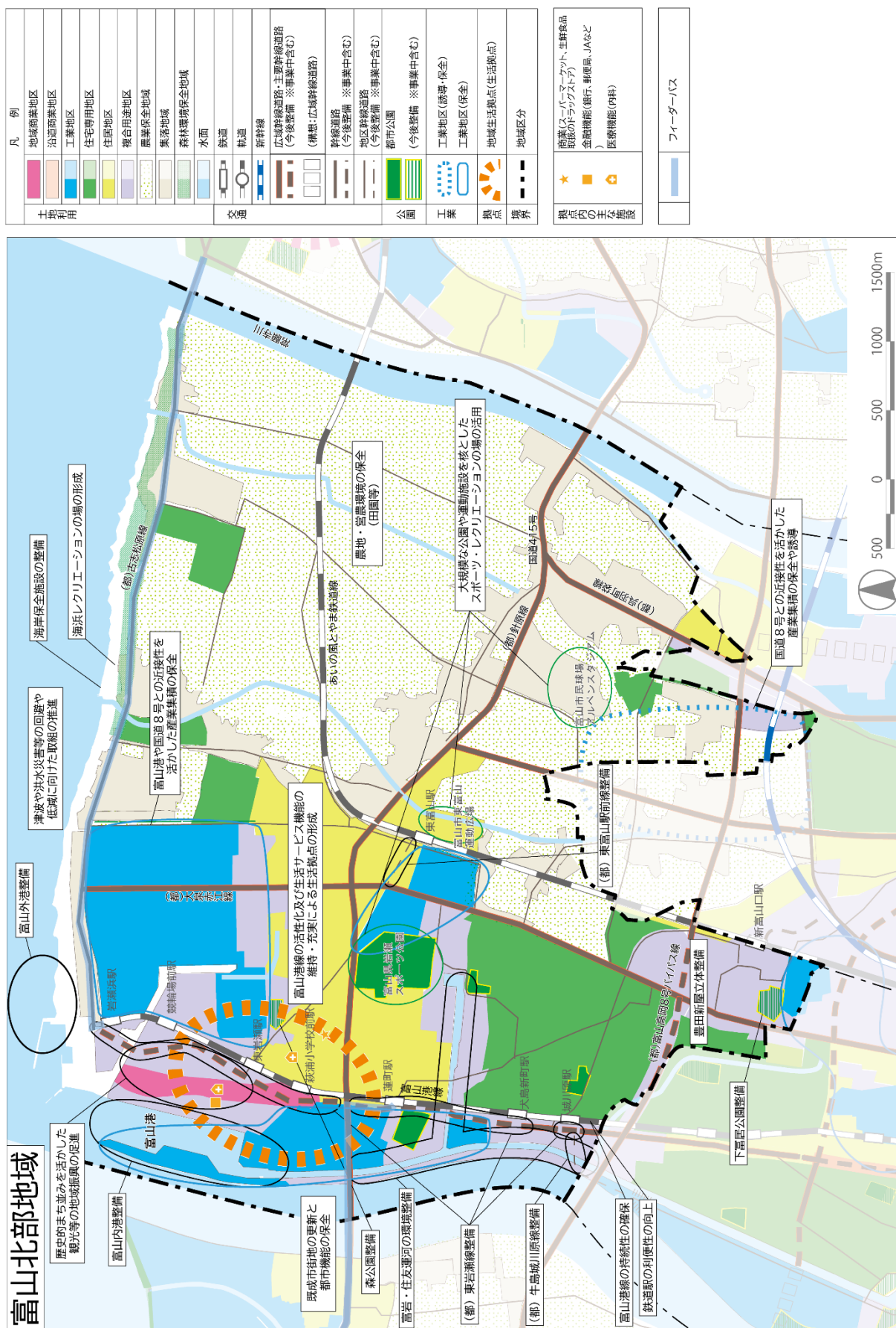
環境、景観、ユニバーサルデザイン

- ・公共交通が便利な圏域を中心に、誰もが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保、公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。
- ・東岩瀬駅の周辺となる岩瀬大町、新川町通りは、歴史的建造物の保全・活用を通じて、歴史的な町並み景観を形成するとともに、地域に親しまれている歴史的建造物や歴史的町並み景観の保全に向けた支援などを検討します。
- ・大村海岸や浜黒崎海岸での白砂青松の再生など海岸環境の保全に努め、自然景観の保全を図ります。

防災・防犯

- ・家屋が密集した市街地では、歴史的町並み景観の形成に配慮しつつ、不燃化建物への建替え誘導など、火災などの災害に強いまちづくりに努めます。
- ・洪水や雨水出水、地震時の津波や高潮など危険性の高い箇所では、そのリスクに応じて居住誘導や新市街地の整備の抑制、災害リスク情報の周知・啓発などにより被害を回避・軽減するための取組を進めます。
- ・沿岸部では緩傾斜護岸など海岸保全施設を整備を促進します。
- ・居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

■まちづくり方針図



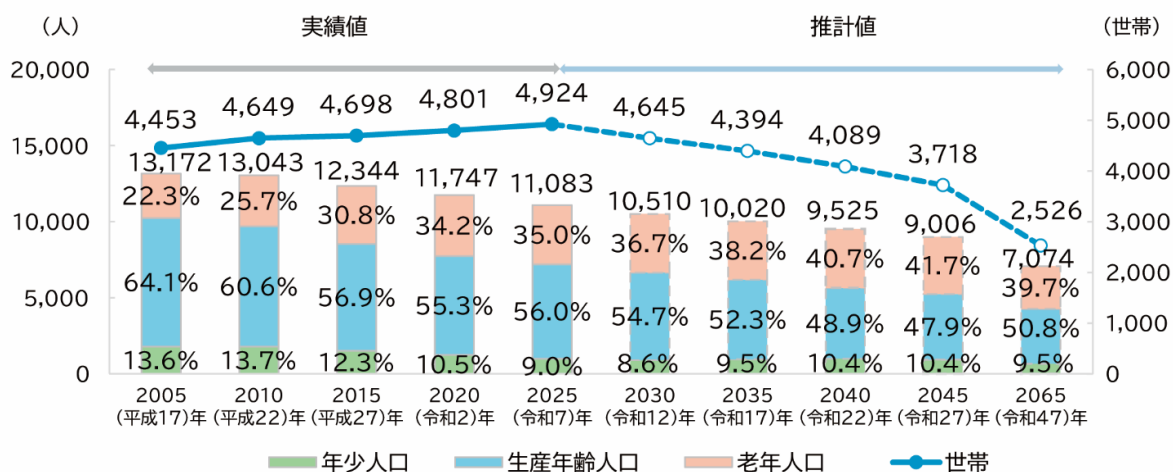
3 和合地域

(1) 地域の現状

①人口・世帯数

人口は減少傾向であり、2025（令和7）年の人口は11,083人、高齢化率が35%と3割を超え、今後は世帯数も減少に転じ、高齢化率も4割を超える見込みです。

■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

②歴史・文化

沿岸部では、四方漁港を中心に、寺社が立地する港町の町並みが形成されています。また、富山湾をはじめ、神通川などの豊かな水辺空間に恵まれており、海水浴場や海浜公園では、マリンスポーツや散策が楽しめます。

南部には、江戸時代の豪農の屋敷で、国の登録有形文化財である内山邸があり、四季折々の風情を感じることができます。

③自然・レクリエーション・景観

ブランド米である八町米の産地で、きれいな田園風景が創出されています。また、豊富な地下水があり、沿岸部では古くから温泉が集積しています。

地域内には、富山湾、神通川、豊かな田園地帯があり、立山連峰を一望することができるなど、自然が豊かです。

沿岸部では、豊富な水産物やアクティビティがあります。

④公共交通

富山港線に接続するフィーダーバスなどのバス路線があります。

⑤土地利用

和合コミュニティセンター周辺を中心に、住宅と商業が混在した市街地が広がっていますが、近年は多くの空き家が発生し、環境の維持が課題となっています。

北東には工業用地や公益施設用地が広がり、大規模工場やチャレンジ・ミニ企業団地が立地しています。

自然的土地利用が約6割、そのうち農地が5割以上を占めており、市平均と比較すると割合が高くなっています。

⑥災害

氾濫平野と臨海部に形成された木造住宅の密集地や低層の住宅地などであり、地震時の津波、浸水深の深い洪水などの懸念があります。

⑦生活行動

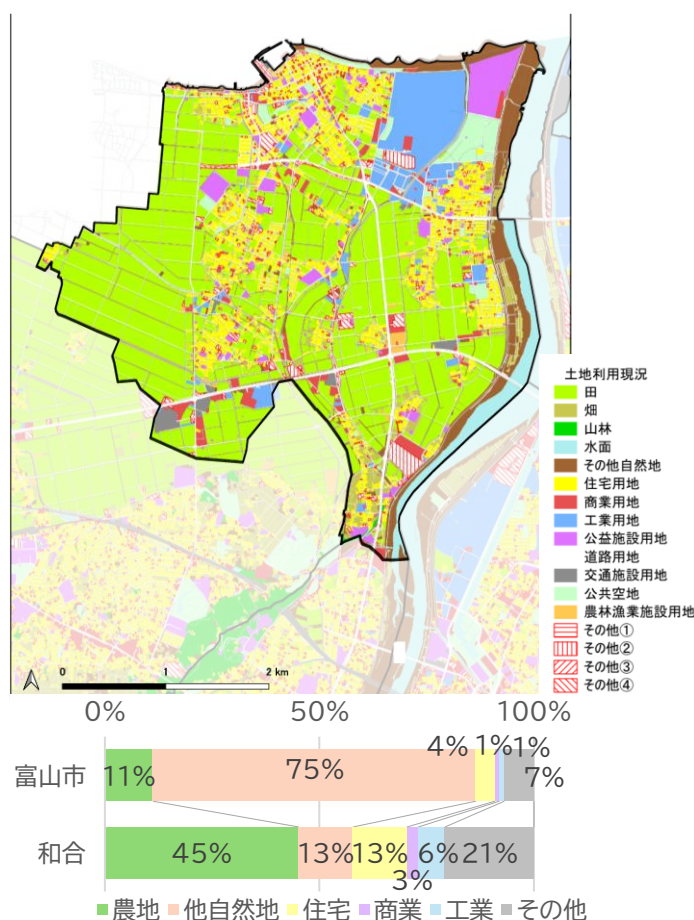
日常の買い物や通院、通勤・通学の約8割、その他の買い物などはほぼ全てが他地域内で行われています。

なお、富山中央地域や富山北部地域が主な行先となっています。

⑧地域のつながり

地形や環境、市民の生活行動から、富山北部地域や水橋地域と強いつながりがあります。

■土地利用現況と土地利用面積比率



出典：都市計画基礎調査（令和5年度）

<市民ワークショップでの提案>

<p>《地域の魅力》</p>	<p>◇海の資源 （富山湾や田園風景から、立山連峰や新湊大橋を望む景観、八重津浜海浜公園、四方漁港の海産物、鯉温泉などの温浴施設）</p> <p>◇ブランド米を育む豊かでのどかな田園環境 （八町米の産地、田園をはじめとした豊かな緑、獅子舞などの祭事）</p> <p>◇住みやすさ （国道や幹線道路の充実、市街化されていないゆったりとした環境、地域のつながりによる治安の良さ）</p>
<p>《20年後の地域の将来イメージ》</p>	<p>『住みやすい 来やすい 遊びやすい ～WAい WAい で GO GO～』</p>

(2) まちづくりの目標

和合地域では、海辺の自然環境・レクリエーションの場、産業の集積などを活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。

i) 海辺の自然環境やレクリエーションの場を活用した地域拠点の形成

和合コミュニティセンター周辺において、生活機能の維持と、海辺の自然環境や公園などのレクリエーションの場を活かし、市民や来街者の都市活動を生み出す地域拠点を形成します。

ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成

富山港線に接続するフィーダーバスの活性化などと連携して、沿線の諸機能を活かし、また既成市街地の更新を促すことで、良好な居住環境を形成します。

iii) 拠点などを結ぶ公共交通や主要な道路の適正な保全や整備

和合コミュニティセンター周辺の市街地や既存集落などを結ぶ公共交通・主要な道路を適正に整備・保全し、周辺地域との円滑な移動環境を形成します。

iv) 海岸などの自然環境や水田などの営農環境の保全

海岸などの豊かな自然環境や水田などの営農環境の保全を推進します。

v) 富山港や国道8号との結節性を活かした産業集積の保全

富山港や国道8号との結節性を活かし、産業集積の保全を図ります。

vi) 安全・安心なまちの形成

津波などの災害リスクの回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を推進します。

(3) 分野別の方針

①土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活拠点である和合コミュニティセンター周辺では、旧市街地の商店街を地域商業地区として位置付け、最寄り品小売業や金融機関、公共公益施設の充実を図ります。 ・海辺の地域資源の活用を見据え、四方漁港や四方海浜公園などは交流の場づくりを検討します。
産業系	<ul style="list-style-type: none"> ・臨海部の大規模工場や企業団地は、工業地区として位置付け、先端産業などの集積を図ります
住宅系	<ul style="list-style-type: none"> ・打出地区は、戸建住宅を主体とした住宅専用地区と、幹線道路沿道は一定規模の商業機能が立地可能な住居地区とし、田園環境と調和するとともに、利便性と快適性を兼ね備えた定住環境を形成します。 ・地域商業地区周辺の市街地は、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区とし、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地として形成します。 ・公共交通が便利な圏域では、公共交通の活性化や生活関連機能の充実と併せて居住の誘導を図ります。 ・空き地・空き家の適正な管理や有効活用などにより、安全・安心な住環境の形成に努めます。
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の南側に位置する農地は、農業保全地域として、虫食いの農地転用を抑制し、良好な営農環境を保全します。 ・集落地域では、既存コミュニティを活かし、良好な生活環境の形成に努めます。

②交通体系の方針

公共交通

- ・公共交通軸であるフィーダーバス路線は、快適性の向上など機能強化を図るとともに、生活の足の確保を図るため、生活バス路線の維持に努めます。
- ・和合コミュニティセンター周辺では、都市計画道路の整備に伴う歩行空間の整備などによる移動環境の改善に努めます。

道路

- ・地域高規格道路で富山外郭環状道路の一部である国道8号中島本郷立体の整備を促進します。
- ・都心地区や各拠点との連絡を支える道路ネットワークとして、（都）打出線・（一）練合宮尾線の整備を促進します。
- ・橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。

③その他の都市施設・機能の方針

公園緑地・まちの緑、レクリエーション

- ・みどりの拠点として和合公園を整備します。また、射水線跡地の歩行者専用道路は、緑豊かな緑地空間の維持に努めます。
- ・八重津浜海岸の一带は、四方漁港や四方海浜公園での賑わいの創出と、温浴施設や飲食店などの地域資源と連携により、海辺のレクリエーションの場を形成します。
- ・神通川の河川敷は、河川環境の保全を図るとともに、野鳥観察などレクリエーションの場としての活用を進めます。

河川・水路、上水道、下水道

- ・神通川左岸では、堤防の強化を図るため、堤防整備事業などを促進します。
- ・避難所などに接続する上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・八町第2マンホールポンプ所などにおいて、下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・土地利用に即した下水道整備のあり方を検討します。

④都市の質に関する方針

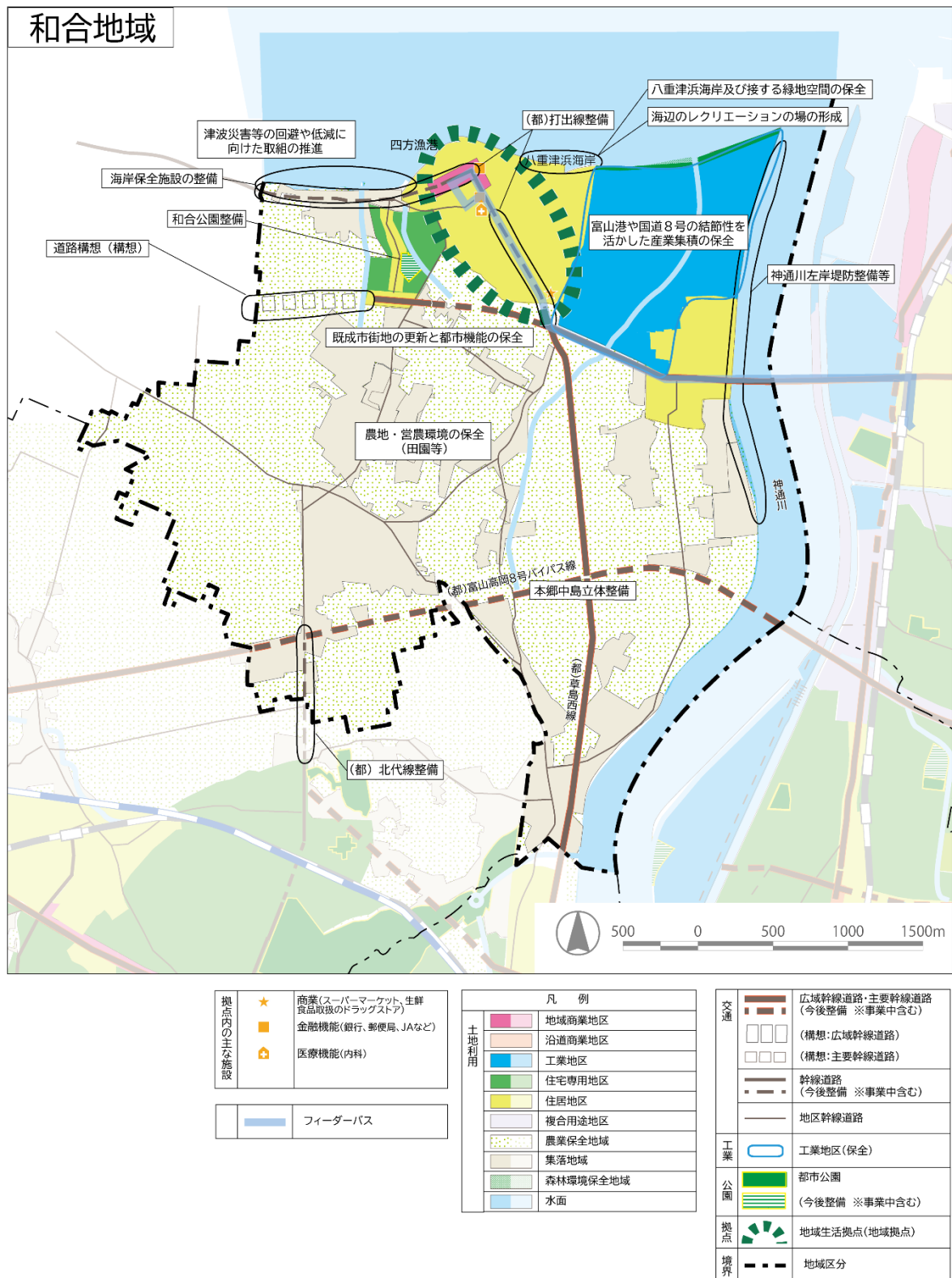
環境、景観、ユニバーサルデザイン

- ・公共交通が便利な圏域を中心に、誰もが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保や公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。
- ・八重津浜海岸及び海岸に接するクロマツ群落の一体的な保全や整備などを推進します。

防災・防犯

- ・家屋が密集した旧市街地は、不燃化建物への建替え誘導など、火災に強いまちづくりに努めます。
- ・洪水や雨水出水、地震時の津波・高潮など危険性の高い箇所では、そのリスクに応じて、居住誘導や新市街地の整備の抑制、災害リスク情報の周知・啓発などにより被害を回避・軽減するための取組を進めます。
- ・居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

■まちづくり方針図



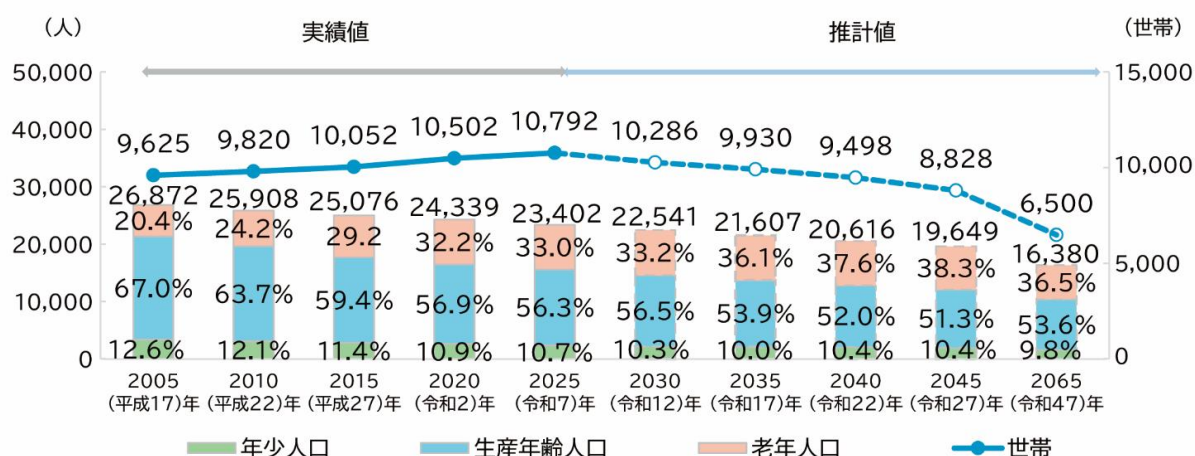
4 呉羽地域

(1) 地域の現状

①人口・世帯数

人口は減少傾向にあり、2025（令和7）年の人口は、23,402人、高齢化率が33%となっており、今後、世帯数も減少する見込みで、高齢化率も高まる見込みです。

■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

②歴史・文化

地域内には、ガラス造形活動の拠点であるガラス造形研究所やガラス工房、富山市民芸術創造センターのほか、県立図書館などが立地しており、芸術文化の拠点となっています。

また、呉羽丘陵周辺には、古墳や城跡、縄文遺跡など、数多くの歴史文化資源に触れることができます。

③自然・レクリエーション・景観

呉羽丘陵地には、梨畑や果樹園が広がり、新たな特産品の創出も進んでいます。また、身近な里山や豊かな自然景観があり、呉羽丘陵フットパスや富山市ファミリーパークなど、自然を活かしたレクリエーション施設などが立地するとともに、呉羽青少年自然の家では様々な野外アクティビティを体験できます。

④公共交通

あいの風とやま鉄道線の呉羽駅が立地し、富山西部地域を經由し富山駅に向かうバスなど複数のバス路線や生活の足としての地域自主運行バスがあります。

⑤土地利用

地域生活拠点である呉羽駅周辺から（主）富山高岡線の沿線を中心に、住宅と商業用地が混在した市街地が広がり、富山西IC周辺では、呉羽南部企業団地を整備し、工業用地が広がっています。また、市街化区域内などで低未利用地が存在しています。梨畑や水田などの農地が地域の4割を占めています。

⑥災害リスク

谷地形上に住宅地が形成され、土砂災害や雨水出水の影響が局所的に懸念されます。

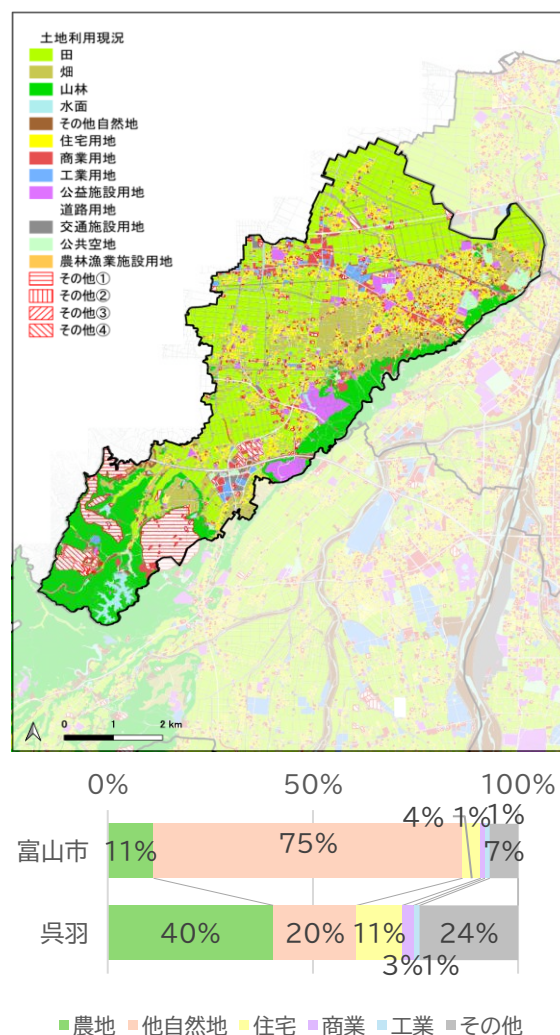
⑦生活行動

日常の買い物の約8割、通院の半数程度が自地域内で行っていますが、通勤・通学やその他の買い物、文化・スポーツなどは2～3割程度となっています。

⑧地域のつながり

地形や環境、市民の生活行動から富山西部地域と強いつながりがあります。

■土地利用現況と面積比率



出典：都市計画基礎調査（令和5年度）

<市民ワークショップでの提案>

《地域の魅力》	◇食 （呉羽梨などの果実、八町米、人参や玉ねぎなどの高付加価値作物など）
	◇自然・体験 （呉羽丘陵フットパスなどの豊かな自然環境や立山連峰が一望できる景色、民俗民芸村や北代縄文広場などの歴史的施設、文化施設が集積し、様々な活動や体験が可能）
	◇暮らし （呉羽駅周辺に商業などが集積、先端医療が受けられる富山大学付属病院、おしゃれなカフェや飲食店が多数あり）
《20年後の地域の将来イメージ》	『学生のエネルギーあふれるまち』 『呉羽丘陵を核に自然・文化・音・食のまち』 『とやまのへそ花のじゅうたん広がる908（くれは）』

(2) まちづくりの方針

呉羽地域では、芸術文化の場、商業施設などの集積、呉羽丘陵の施設や自然環境などを活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。

i) 芸術文化の場を活かした呉羽駅周辺を中心とする生活拠点の形成

呉羽駅周辺において、公共交通の利便性と富山市民芸術創造センターなどの充実した芸術文化の場、商業施設・病院などが集積する環境を活かし、生活サービスや文化・交流機能の維持・充実を図ります。

ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成

あいの風とやま鉄道線や幹線バス路線の活性化と連携して、沿線の諸機能を活かし、また既成市街地の更新を促すことで、良好な居住環境を形成します。

iii) 呉羽丘陵を核とした自然・レクリエーションの場の形成

呉羽丘陵フットパスや富山市ファミリーパーク、ガラス工房などがある呉羽丘陵を核に、市民が自然環境やレクリエーションに親しめる場を形成します。

iv) 水田や果樹園などの営農環境の保全

水田や果樹園などの営農環境を保全します。

v) 広域物流に優位な交通環境を活かした産業の誘導

富山西 I C や幹線道路との結節性を活かし、産業の保全や誘導を図ります。

vi) 安全・安心なまちの形成

土砂災害などのリスク回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を進めます。

(3) 分野別の方針

①土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none"> ・(主) 富山高岡線沿道を地域商業地区として位置付け、生活拠点を担う市街地として、公共交通の活性化と併せて、最寄り品小売業や金融機関、公共施設などの機能を維持します。
産業系	<ul style="list-style-type: none"> ・北陸自動車道の富山西 I C 周辺は、工業地区として位置付け、呉羽南部企業団地における産業集積の保全及び、先端技術を用いた製造工場や流通業務施設の立地を誘導します。
住宅系	<ul style="list-style-type: none"> ・呉羽駅南周辺を除く市街地は、戸建住宅を主体とした住宅専用地区とし、良好な住環境の形成を図ります。 ・呉羽駅南周辺は、住居地区とし、市民芸術創造センターなどの公共公益施設や駅周辺の商業施設と調和した住宅地として形成します。また、呉羽駅北口では、引き続き計画的住宅地の整備を促進します。 ・あいの風とやま鉄道線と(主) 富山高岡線が交差する地区周辺は、複合用途地区とし、沿道施設と住宅との調和を図ります。 ・公共交通が便利な圏域では、公共交通の活性化や生活関連機能の充実と併せて居住の誘導を図ります。 ・空き地・空き家の適正な管理や有効活用などにより、安全・安心な住環境の形成に努めます。
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地を囲む農地は、農業保全地域として位置付け、虫食いの農地転用や個別開発の抑制による、良好な営農や自然環境を保全します。また、地域を特徴づける農園の保全を図ります。 ・集落地域では、既存コミュニティを活かし、良好な生活環境の形成に努めます。

②交通体系の方針

公共交通

- ・あいの風とやま鉄道線の利便性向上と持続性の確保を図るため、ダイヤの改善、老朽化した施設・設備の更新や改良などを進めます。
- ・公共交通軸であるバス路線は、快適性の向上など機能強化を図るとともに、生活の足を確保するため、生活バス路線の維持や地域自主運行バスの機能確保などに努めます。
- ・呉羽駅では、バスとの連携強化などにより利用環境の改善や利用圏域の拡大に努めます。

道路

- ・地域高規格道路である富山外郭環状道路の構想検討や国道 8 号中島本郷立体の整備を促進します。
- ・都心地区と各拠点とを連絡する(都) 綾田北代線・(都) 北代線などの整備を促進します。
- ・呉羽駅へのアクセス道路として市道高木 10 号線の整備を推進します。
- ・橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。

③その他の都市施設・機能の方針

公園・緑地、レクリエーション

- ・北代緑地、北代縄文広場、都市緑化植物園をはじめ、富山西部地域側を含めた呉羽丘陵全体の回遊性と魅力向上、利用促進を図ります。
- ・呉羽丘陵では、里山環境やホクリクサンショウウオをはじめとした生物の生息環境の保全に配慮した上で、ファミリーパークの再整備や、呉羽丘陵フットパスを活かした周遊散策路整備などを通じて、森林を活かしたレクリエーションの場の形成を図ります。
- ・ガラス工房やガラス造形所を核とするグラス・アート・ヒルズ富山を拠点に、ガラス作家や市民が集いガラス文化に親しむ環境の構築を図ります。

河川・水路、上水道、下水道

- ・新鍛冶川は、自然や生態系に配慮した水辺景観に配慮しつつ、治水機能の向上を図ります。
- ・避難所などに接続する上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・呉羽駅前雨水ポンプ場などにおいて、下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・土地利用に即した下水道整備のあり方を検討します。
- ・市民が安全に生活できるよう新鍛冶川排水区において浸水対策を推進します。

④都市の質に関する方針

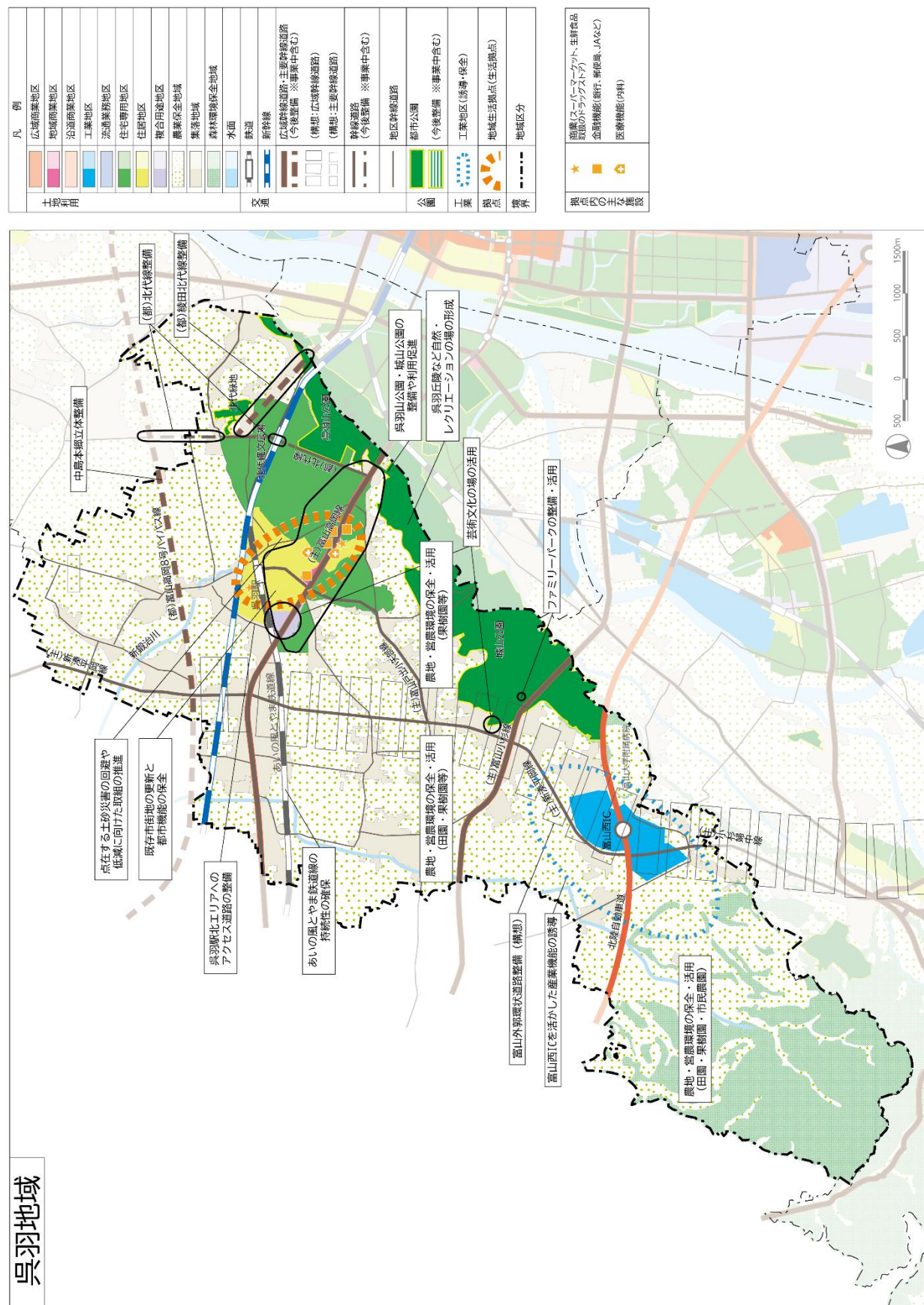
環境、景観、ユニバーサルデザイン

- ・公共交通が便利な圏域を中心に、誰もが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保や公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。
- ・呉羽丘陵周辺は、建築の規制など秩序ある土地利用により、良好な緑地景観の保全を図ります。
- ・（主）富山高岡線と呉羽駅を結ぶ区間は、隣接する富山市民芸術創造センターの立地を活かし、芸術文化の場にふさわしい景観誘導を図ります。

防災・防犯

- ・呉羽丘陵周辺の土砂災害の危険性の高い箇所では、そのリスクに応じて、居住誘導や新市街地の整備の抑制、災害リスク情報の周知・啓発などにより被害を回避・軽減するための取組を進めます。
- ・居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

吳羽地域



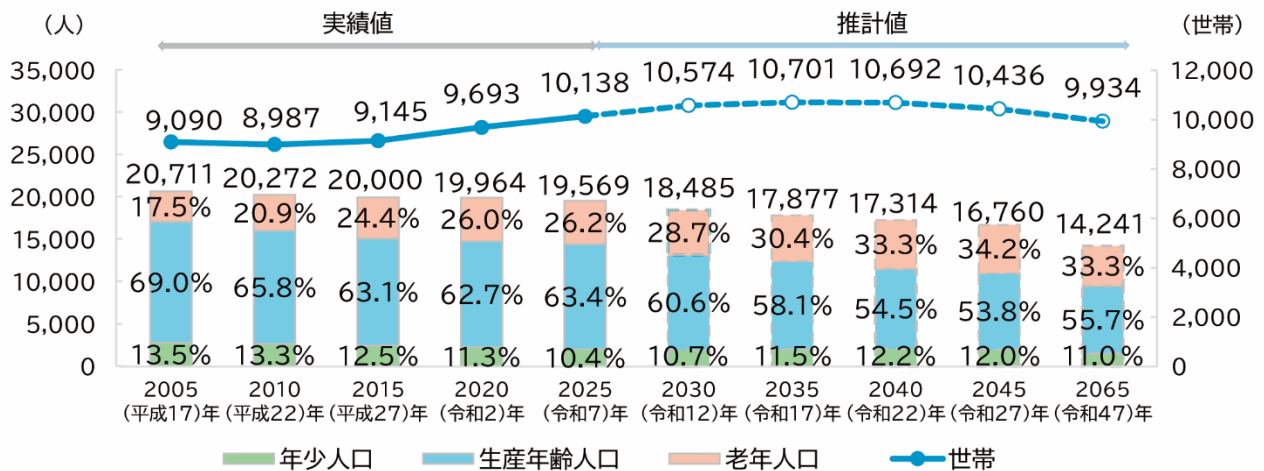
5 富山西部地域

(1) 地域の現状

①人口・世帯数

人口は減少傾向にあり、2025（令和7）年時点で19,569人、高齢化率は26%と他地域に比べ若いものの、今後は世帯数も減少に転じ、高齢化率も3割を超える見込みです。

■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

②歴史・文化

地域内には、富山大学をはじめ、富山商業高校や富山工業高校、富山大学附属小中学校など、市内だけでなく、県内外から選ばれる教育施設が立地しています。

富山県水墨美術館が立地しているほか、五福公園を中心としたレクリエーション施設、富山市民俗民芸村や文化財などの地域資源があり、学術文化や交流機能が充実しています。

③自然・レクリエーション・景観

呉羽丘陵における緑地環境や自然景観が身近にあり、呉羽山展望台や呉羽丘陵フットパス連絡橋などの観光スポットが充実しています。

④公共交通

路面電車の停留場とJR高山本線の西富山駅が立地し、富山駅などへ向かうバスなど複数のバス路線があります。

⑤土地利用

地域生活拠点である富山大学前停留場周辺を中心に、住宅や商業、教育施設などの土地利用が広がり、住宅、商業を合わせると、地域内の4分の1を占め、南西には、金屋企業団地が立地しています。また、低未利用地も多く点在しています。

自然的土地利用が約5割、そのうち農地が2割を占め、市街地近郊にまとまった農地があります。

⑥災害リスク

氾濫平野に位置しており、地域のほとんどが浸水想定区域に含まれています。また、神通川や井田川付近では、深い浸水が想定され、家屋倒壊など氾濫想定区域も指定されています。さらに、呉羽山断層に隣接しており、呉羽山周辺では、地震を起因とした土砂災害などのリスクもあります。

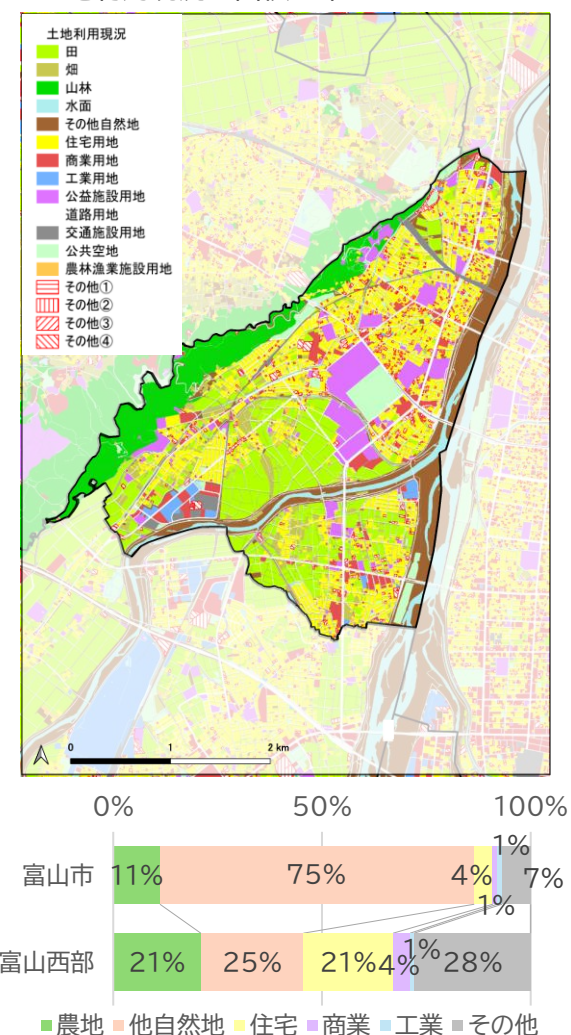
⑦生活行動

日常の買い物の約7割・通院の約4割が自地域内であり、通勤・通学やその他の買い物は約2割程度となっています。

⑧地域のつながり

地形や環境、市民の生活行動から呉羽地域と強いつながりがあります。

■土地利用現況と面積比率



出典：都市計画基礎調査（令和5年度）

<市民ワークショップでの提案>

《地域の魅力》	<p>◇住む（都心への移動が便利、スーパーなどの生活利便施設が充実、五福公園や周辺の田園などで農地や自然と触れ合え遊べる、市街地の近郊で農業が盛んで新鮮な米や野菜が食べられる）</p> <p>◇観る（呉羽丘陵の自然、立山連峰や田園などの景色、民俗民芸村や五百羅漢・富山県水墨美術館などの歴史・文化施設が充実）</p> <p>◇学ぶ（富山大学や高校などが集積する学生街）</p>
《20年後の地域の将来イメージ》	『住む・観る・学ぶを磨き上げ、 住みたい・行きたい・伝えたい 富山西部』

(2) まちづくりの目標

富山西部地域では、路面電車などの公共交通の利便性、学術・産業機能と商業施設などの集積、呉羽丘陵の施設や自然環境などを活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。

i) 路面電車の利便性と学術・産業機能の立地を活かした副次都市拠点の形成

富山大学周辺において、路面電車などの公共交通の利便性と、大学・高校・新産業支援センターなどの学術・産業機能と商業施設などの集積を活かし、生活サービスと、産学官が連携する業務や交流機能などの充実を図ります。

ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成

J R 高山本線や路面電車などの活性化と連携して、沿線の諸機能を活かし、また既成市街地の更新を促すことで、良好な居住環境を形成します。

iii) 呉羽丘陵や五福公園を核とした自然・レクリエーションの場の形成

呉羽丘陵フットパスや富山市民俗民芸村、ファミリーパークなどがある呉羽丘陵、陸上競技場や野球スタジアムのある五福公園を核に、市民が身近に自然環境やレクリエーションに親しめる場を形成します。

iv) 水田などの営農環境の保全

水田などの営農環境の保全を推進します。

v) 安全・安心なまちの形成

洪水などの災害リスクの回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を進めます。

(3) 主な取組・分野別の方針

①土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none"> ・副次都市拠点である富山大学前停留場をはじめとする路面電車沿線の市街地は、地域商業地区として位置付け、公共交通の活性化と併せて、最寄り品小売業や金融機関、公共公益施設をはじめ、富山大学などの学術研究機関の集積を活かし、新たなビジネス創造に向けて就業の場や交流の場の充実を図ります。 ・(都)五艘大泉線、(都)呉羽町袋線の沿道のうち、環状道路である(都)草島西線以東は、沿道商業地区として位置付け、沿道商業機能の立地の適正化を図ります。
産業系	<ul style="list-style-type: none"> ・金屋企業団地の周辺は、富山西 I C への近接性を活かした工業地区として位置付け、運輸業や卸売業などの集積を図ります。
住宅系	<ul style="list-style-type: none"> ・あいの風とやま鉄道線以南、J R 高山本線の南側の市街地は、住宅専用地区とし、学生アパートなどの集合住宅を含む良好な低中層住宅地として形成します。 ・西富山駅西側では、寺町けやき台団地など戸建住宅を主体とした住宅地とし、良好な住環境の形成を図ります。 ・あいの風とやま鉄道線以北の市街地は、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区とし、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地として形成します。 ・公共交通が便利な圏域では、公共交通の活性化や生活関連機能の充実と併せて居住の誘導を図ります。 ・空き地・空き家の適正な管理や有効活用などにより、安全・安心な住環境の形成に努めます。
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の南部に位置する農地は、農業保全地域として、虫食いの農地転用を抑制し、良好な営農環境を保全します。 ・集落地域では、既存コミュニティを活かし、良好な生活環境の形成に努めます。

②交通体系の方針

公共交通

- ・鉄軌道（J R 高山本線、路面電車）の利便性向上と持続可能性の確保を図るため、ダイヤの改善、老朽化した施設・設備の更新や改良などを進めます。
- ・公共交通軸であるバス路線は、快適性の向上など機能強化を図るとともに、生活の足を確保するため、生活バス路線などの維持や機能確保に努めます。
- ・路面電車の停留場周辺ではシェアサイクルなどの身近な移動手段により、移動環境の充実を図ります。
- ・西富山駅周辺では、アクセス道路の整備などによる、利用環境の改善や利用圏域の拡大を図ります。

道路

- ・都心地区や拠点とをつなぐ（都）金屋線の整備、西富山駅へのアクセス道路として（都）寺町線の整備を進めます。
- ・神通大橋（上流側）の更新や神通大橋（下流側）の大規模修繕など、橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。

③その他の都市施設・機能の方針

公園・緑地、レクリエーション

- ・歴史・文化の学習の場である富山市民俗民芸村の充実や、呉羽丘陵フットパス連絡橋を活かした周遊散策路整備などにより、呉羽丘陵の森林を活かしたレクリエーションの場の形成を図ります。
- ・市民の憩いの場である神通川緑地を核に、スポーツ・レクリエーションの場の形成を図ります。

河川・水路、上水道、下水道

- ・住宅地内を流れる馬渡川は、自然や生態系に配慮した水辺景観に配慮しつつ、治水機能の向上を図ります。
- ・神通川左岸では、堤防の強化を図るため、堤防整備事業を進めます。
- ・避難所などに接続する上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・神明ポンプ・ゲート場などにおいて、下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・土地利用に即した下水道整備のあり方を検討します。
- ・市民が安全に生活できるよう畑中排水区において浸水対策を推進します。

④都市の質に関する方針

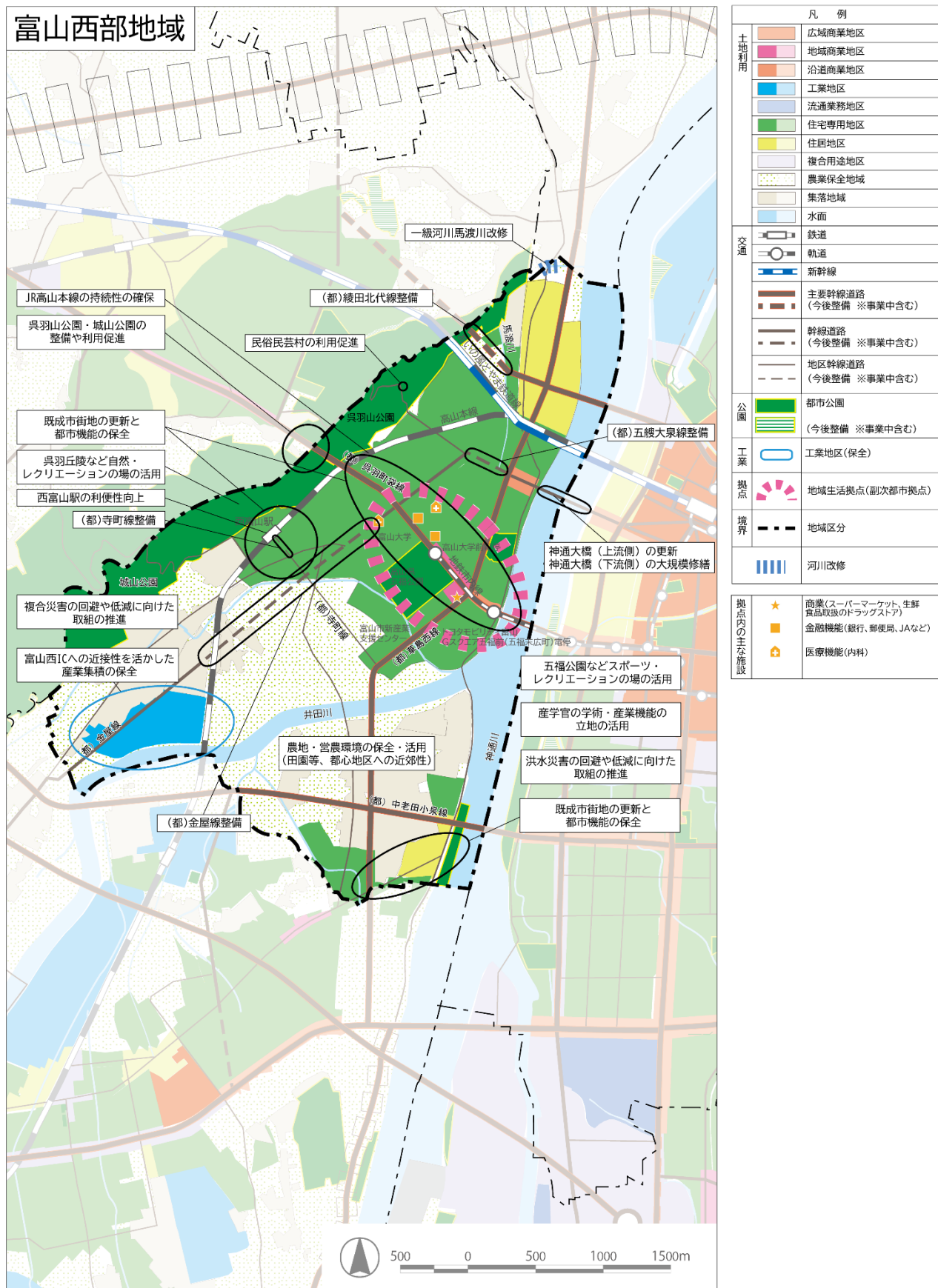
環境、景観、ユニバーサルデザイン

- ・公共交通が便利な圏域を中心に、誰もが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保や公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。
- ・呉羽丘陵及びその周辺は、秩序ある土地利用を図るとともに、建物や屋外広告物の誘導と緑地の適切な維持・管理を通じて、良好な緑地景観の保全を図ります。

防災・防犯

- ・呉羽丘陵周辺の土砂災害や洪水・雨水出水の危険性の高い箇所では、そのリスクに応じて、居住誘導や新市街地の整備の抑制、災害リスク情報の周知・啓発などにより被害を回避・軽減するための取組を進めます。
- ・居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

■まちづくり方針図



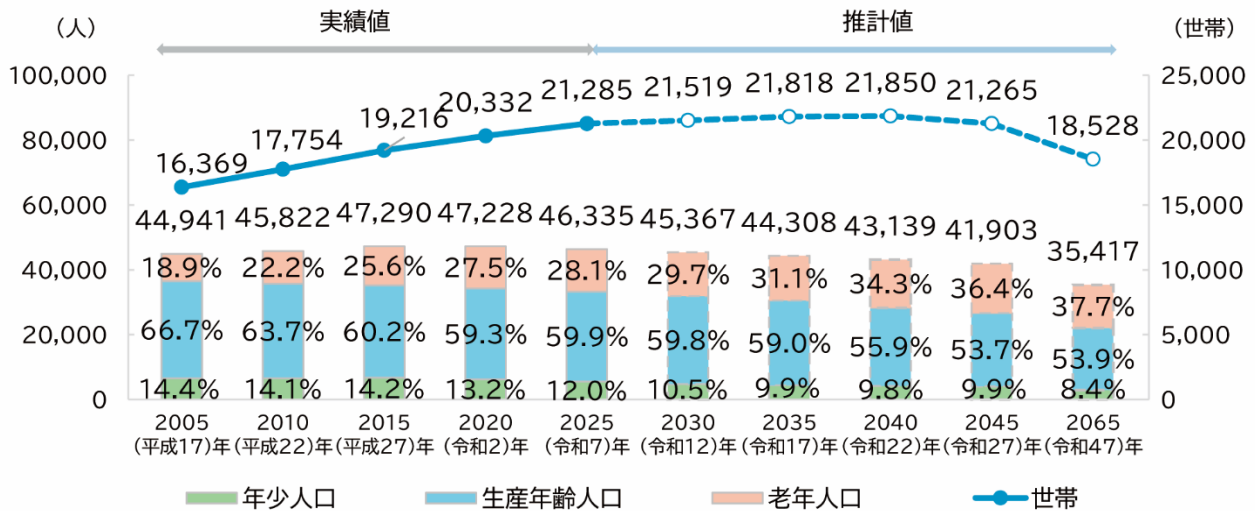
6 富山南部地域

(1) 地域の現状

①人口・世帯数

人口は減少傾向にあり、2025（令和7）年時点で46,335人、高齢化率は28%となっており、今後、世帯数は2040（令和22）年頃にピークを迎え、減少に転じる見込みです。

■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

②歴史・文化

地域内には、富山県総合運動公園をはじめ富山南総合公園や神通川南緑地など、大きな公園や緑地などが立地しており、スポーツ交流や健康増進の拠点となっています。

また、イタイイタイ病資料館や観光施設などが立地しています。

③自然・レクリエーション・景観

扇状地に位置し、広々とした田園地帯が広がり、市街地の南には散居村の農村風景が見られます。西側には神通川、中央部には熊野川が縦断しており、アユの遡上やホタルの生息地になっているなど、豊かな自然環境が残っています。

④公共交通

富山地方鉄道不二越・上滝線の南富山駅などの駅が立地し、国道41号などのバス路線のほか、地域自主運行バス路線があります。

⑤土地利用

地域生活拠点である南富山駅周辺から富山地方鉄道上滝線の沿線を中心に、住宅と商業用地が混在した市街地が広がっています。また、富山 I Cや富山空港の周辺は、流通業務や製造業などの企業団地が整備され、工業用地が広がっています。

水田や畑などの農地が地域の4割を占め、市平均と比べ割合が高くなっています。

⑥災害

常願寺川の扇状地に形成された住宅地であり、洪水の影響を受けやすく、雨水出水・神通川及び支流（熊野川や土川）の洪水などの影響もあるため、防災行動の強化や防災拠点などの充実により避難などの確実性を高めるとともに、回避に向けた土地利用対策の推進が必要です。

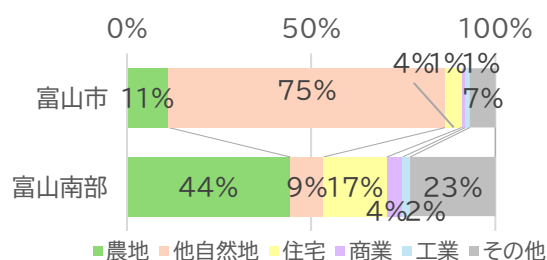
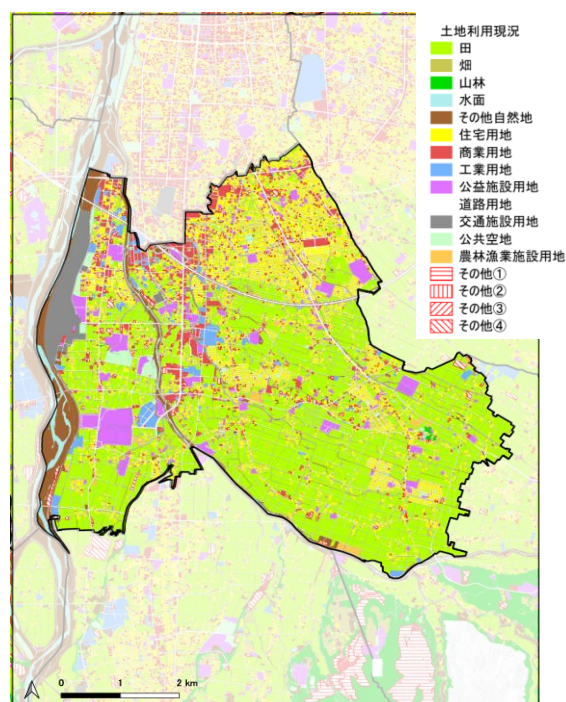
⑦生活行動

日常の買い物の約7割を自地域内で行っていますが、通勤・通学、通院、その他の買い物は2～3割程度となっています。

⑧地域のつながり

地形や環境、市民の生活行動から、大山地域と強いつながりがあります。

■土地利用現況と面積比率



出典：都市計画基礎調査（令和5年度）

<市民ワークショップでの提案>

<p>《地域の魅力》</p>	<p>◇集客施設が立地 （富山空港、富山県総合運動公園、能楽堂など）</p> <p>◇豊かな自然 （田園景観、立山連峰の眺望景観、熊野川の豊かな自然環境）</p> <p>◇住みやすさ （コミュニティのつながり、国道41号や高速道路などが充実しアクセスがよい、富山市民病院や健康増進施設が充実）</p>
<p>《20年後の地域の将来イメージ》</p>	<p>『自然とコミュニティが活きる全世代が元気に暮らせるまち』</p>

(2) まちづくりの目標

富山南部地域では、複数の公共交通が連絡し多様な世代が行き来する結節性、商業施設などの集積、大規模な公園・スポーツ施設などを活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。

i) 多世代が行き来する結節性を活かした南富山駅周辺での副次都市拠点の形成

南富山駅周辺において、複数の公共交通が連絡し、通勤・通学で多様な世代が行き来する結節性や商業施設などの集積を活かし、商業や業務の活性化、多世代の交流、さらには周辺地域への玄関口としての機能などの充実を図ります。

ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成

富山地方鉄道不二越・上滝線や幹線バス路線の活性化と連携して、沿線の諸機能を活かし、また既成市街地の更新を促すことで、良好な居住環境を形成します。

iii) 大規模な公園や運動施設を核としたスポーツ・レクリエーションの場の形成

富山県総合運動公園など多様な機能を持つ充実した公園や運動施設を核に、市民がスポーツやレクリエーションに親しめる場を形成します。

iv) 豊かな自然環境や営農環境の保全

熊野川などの自然環境や田園が広がる営農環境を保全します。

v) 広域物流や移動に優位な交通環境を活かした産業の保全や誘導

空港や富山 I C などとの結節性を活かし、産業の保全や誘導を図ります。

vi) 安全・安心なまちの形成

洪水などの災害リスクの回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を進めます。

(3) 主な取組・分野別の方針

①土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none">・副次都市拠点である南富山駅周辺のうち、駅前商店街及び（都）堀川線沿道は、地域商業地区として位置付け、公共交通の活性化と併せて、最寄り品小売業や金融機関、公共公益施設の充実を図ります。・（都）草島東線沿道は、沿道商業地区として位置付け、沿道商業機能の立地の適正化を図ります。
産業系	<ul style="list-style-type: none">・（都）県庁線（国道 41 号）沿道のとやまオムニパークは、交通利便性を活かした工業地区として位置付け、異業種交流のモデル団地として形成します。・富山 I C・富山空港周辺地区は、工業地区、流通業務地区として位置付け、製造業や運輸業などの集積を図ります。
住宅系	<ul style="list-style-type: none">・南富山駅周辺では、商業施設や公共公益施設などと調和した住宅地を形成します。・（都）県庁線（国道 41 号）以東の市街地や珠泉、月岡などの住宅団地は、戸建住宅を主体とした住宅専用地区として位置付け、周辺の田園環境と調和するゆとりある良好な住環境の形成を図ります。・富山地方鉄道不二越・上滝線の沿線は、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区として位置付け、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地として形成します。・富山 I C 周辺や富山空港の周辺は、複合用途地区として位置付け、流通業務と居住が調和した住宅地として形成します。富山空港周辺は、住宅地を中心に一部流通機能を含む複合的な土地利用を誘導します。・公共交通が便利な圏域では、公共交通の活性化や生活関連機能の充実と併せて居住の推進を図ります。・空き地・空き家の適正な管理や有効活用などにより、安全・安心な住環境の形成に努めます。
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none">・地域の南部に位置する農地は、農業保全地域として、虫食いの農地転用を抑制し、良好な営農環境を保全します。・集落地域では、既存コミュニティを活かし、良好な生活環境の形成に努めます。

②交通体系の方針

公共交通

- ・富山地方鉄道不二越・上滝線の利便性向上と持続性の確保を図るため、ダイヤの改善、老朽化した施設・設備の更新や改良などを進めます。
- ・公共交通軸であるバス路線は、快適性の向上など機能強化を推進するとともに、生活の足を確保するため生活バス路線の維持や地域自主運行バスの機能確保などに努めます。
- ・南富山駅周辺では、駅前広場や駅関連施設の整備による乗継利便性の向上などにより、利用環境の改善や利用圏域の拡大を推進します。

道路

- ・地域高規格道路である富山外郭環状道路の構想検討や（都）富山南道路（富山高山連絡道路）の整備を促進します。
- ・都心地区と拠点とをつなぐ（都）大泉線・（都）西荒屋黒崎線などの整備を推進します。
- ・八幡橋の更新や開発陸橋・新保大橋の大規模修繕など、橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。

③その他の都市施設・機能の方針

公園・緑地、レクリエーション

- ・みどりの拠点及びスポーツ活動を主体としたレクリエーション拠点として、富山南総合公園を整備します。

河川・水路、上水道、下水道

- ・冷川、太田川では治水機能の向上を図ります。
- ・神通川左岸では、堤防の強化を図るため、急流河川対策事業を促進します。
- ・避難所などに接続する上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・大泉汚水中継ポンプ場などにおいて、下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・土地利用に即した下水道整備のあり方の検討を推進します。
- ・市民が安全に生活できるよう本郷第一排水区において浸水対策を推進します。

④都市の質に関する方針

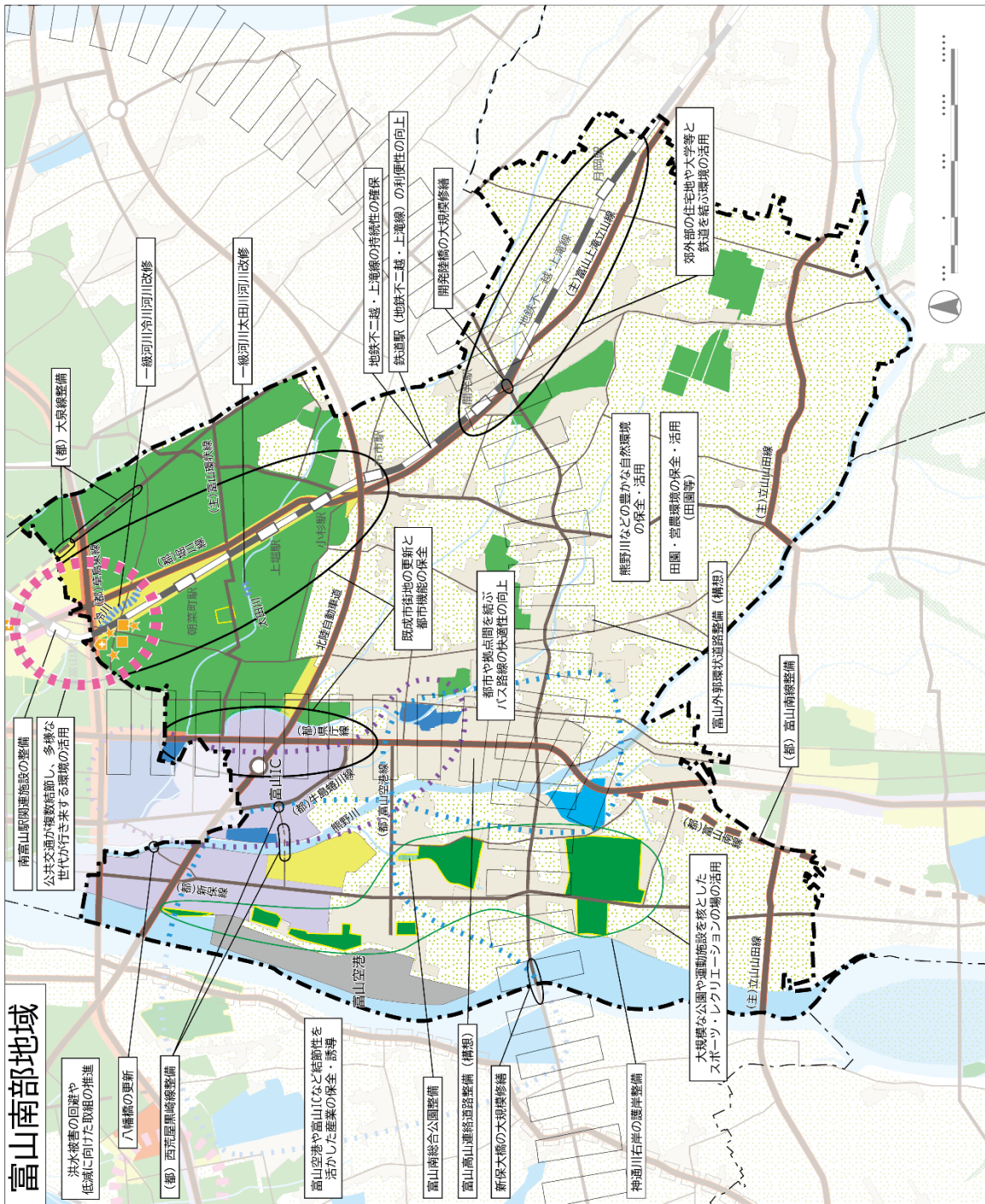
環境、景観、ユニバーサルデザイン

- ・公共交通が便利な圏域を中心に、誰もが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保や公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。
- ・南富山駅周辺では拠点の形成にあわせて、優良な都市景観の形成を推進します。

防災・防犯

- ・洪水や雨水出水の危険性の高い箇所では、そのリスクに応じて、居住誘導や新市街地の整備の抑制、災害リスク情報の周知・啓発などにより被害を回避・軽減するための取組を進めます。
- ・居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

■まちづくり方針図



凡 例	
土地利用	<div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <div> 広域商業地区</div> <div> 地域商業地区</div> <div> 沿道商業地区</div> <div> 工業地区</div> <div> 流通業務地区</div> <div> 住宅専用地区</div> <div> 住居地区</div> <div> 複合用途地区</div> <div> 農業保全地域</div> <div> 集落地域</div> <div> 水面</div> </div>
交通	<div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <div> 鉄道</div> <div> 広域幹線道路・主要幹線道路 (今後整備 ※事業中含む)</div> <div> (構想: 広域幹線道路)</div> <div> 幹線道路 (今後整備 ※事業中含む)</div> <div> 地区幹線道路 (構想: 広域幹線道路)</div> <div> 空港</div> </div>
公園	<div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <div> 都市公園 (今後整備 ※事業中含む)</div> </div>
工業	<div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <div> 工業地区(誘導・保全)</div> <div> 流通業務地区</div> </div>
拠点	<div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <div> 地域生活拠点(副次都市拠点)</div> </div>
境界	<div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <div> 地域区分</div> <div> 河川改修</div> </div>
拠点区に主な機能	<div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <div> 商業(スーパー・マラッタ・生鮮食品等のドラッグストア)</div> <div> 金融機能(銀行、郵便局、JAなど)</div> <div> 医療機能(内科)</div> </div>

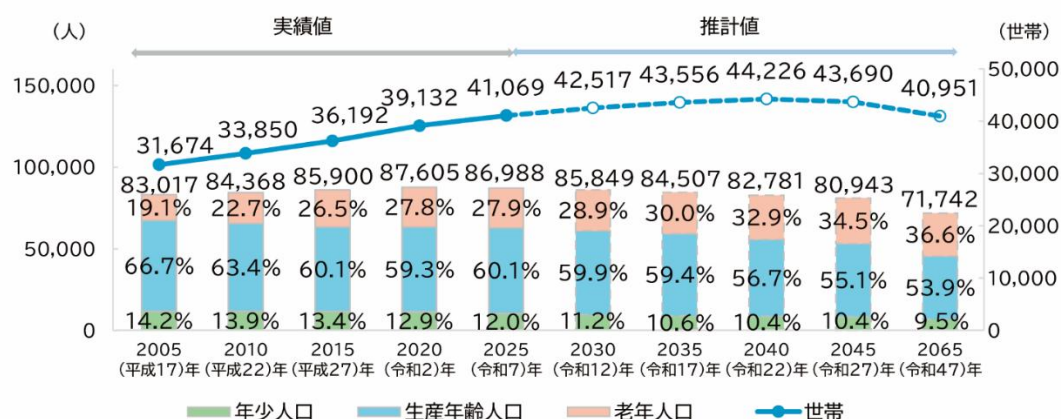
7 富山東部地域

(1) 地域の現状

①人口・世帯数

人口は減少傾向に転換しつつあり、2025（令和7）年の人口は86,988人、高齢化率が約28%となり、今後、2040（令和22）年頃に世帯数がピークを迎え、減少に転じる見込みです。

■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

②歴史・文化

地域内には、国の重要文化財である浮田家住宅と国の登録有形文化財である金岡邸の文化財建造物が立地するほか、世界かんがい遺産に登録されている常西合口用水が還流し、歴史文化の拠点となっています。

また、西番周辺には、地震、水害などの自然災害を伝承する大転石などの歴史的資源が点在し、災害の教訓を学ぶことができます。

③自然・レクリエーション・景観

城東ふれあい公園をはじめ、緑や自然が身近にあり、南部を中心に豊かな田園と散居村的な風景が広がっています。

また、常願寺川やいたち川、常西用水などの水資源があり、豊かな水の恵みを感じることができます。さらに、市街地からでも立山連峰を眺望することができます。

④公共交通

富山地方鉄道本線及び不二越・上滝線の各駅が立地し、藤ノ木方面など複数のバス路線があります。

⑤土地利用

地域生活拠点である富山地方鉄道不二越・上滝線の沿線や国道41号、(都)草島東線などの幹線道路の沿線を中心に、住宅と商業用地、工業用地が混在した市街地が広がっています。また、富山地方鉄道本線の沿線や南部の市街地に小規模な低未利用地が多く存在しています。

住宅や商業で地域の3割以上を占め、14地域中2番目に都市的土地利用が進んでいる地域です。

⑥災害リスク

常願寺川に隣接している住宅地であり、広く洪水の影響を受けます。また、近年には雨水出水の被害の発生が懸念されます。

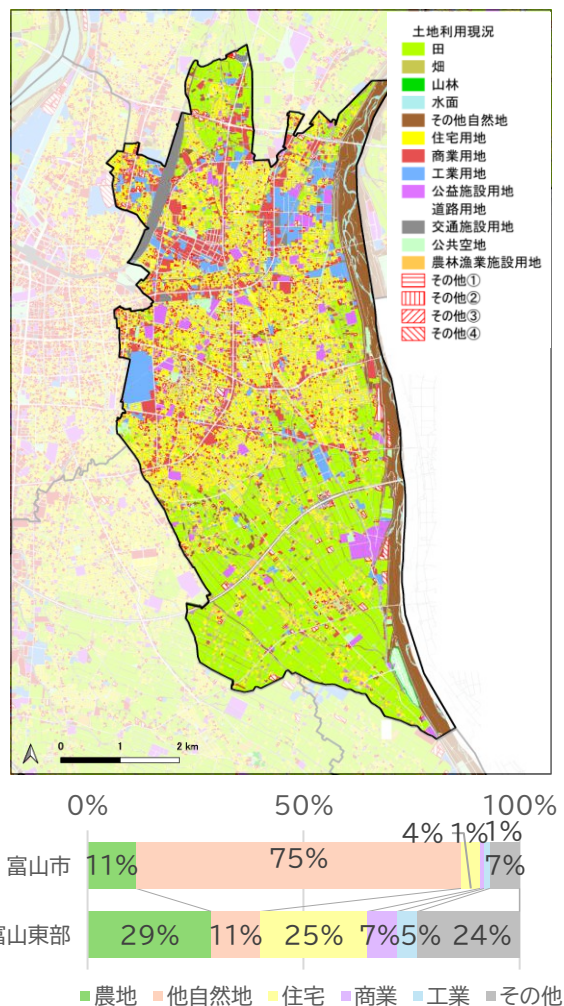
⑦生活行動

日常の買い物や通院の約7～8割、その他の買い物では約5割が自地域内で行われていますが、通勤・通学や文化・スポーツでは3割程度となっています。

⑧地域のつながり

地形や環境、市民の生活行動から、富山中央地域と強いつながりがあります。

■土地利用現況と面積比率



出典：都市計画基礎調査（令和5年度）

<市民ワークショップでの提案>

《地域の魅力》	<p>◇歴史文化・観光・自然資源 (新庄赤門レンガ、金岡邸、浮田家、常西合口用水などの水資源、立山連峰の眺望、西番奉納相撲)</p> <p>◇教育施設集積、活力ある街 (保育園から大学までが立地・城東ふれあい公園などの多機能な公園が充実)</p> <p>◇交通利便性が高い (幹線道路や公共交通が充実)</p>
《20年後の地域の将来イメージ》	<p>『地域資源から始まるまちのコミュニケーション』</p> <p>『歴史文化・教育・自然を活かした「次世代・交流・共存・共生のまち」』</p>

(2) まちづくりの目標

富山東部地域では、複数の路線が結節する公共交通の利便性、総合病院や大型商業施設など多様な都市機能の集積、大規模な公園・スポーツ施設などを活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。

i) 公共交通の結節と生活を潤す多様な都市機能を活かした副次都市拠点の形成

稲荷町駅周辺から不二越町駅周辺において、複数の路線が連絡する公共交通の利便性と、総合病院や大型商業施設、大規模な公園・温浴施設などの多様な都市機能の集積を活かし、商業や業務の活性化、多様な世代の交流機能などの充実を図ります。

ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成

あいの風とやま鉄道線や富山地方鉄道本線及び不二越・上滝線、幹線バス路線の活性化と連携して、沿線の諸機能を活かし、また既成市街地の更新を促すことで、良好な居住環境を形成します。

iii) 大規模な公園やスポーツ施設を核としたレクリエーションの場の形成

稲荷公園や市民プールなどの施設を核に市民がレクリエーションに親しめる場を形成します。

iv) 広域物流に優位な交通環境を活かした産業の保全や誘導

国道8号などの幹線道路や流杉PAスマートICへの結節性を活かし、産業の保全や誘導を図ります。

v) 水田などの営農環境の保全

水田などの営農環境の保全を推進します。

vi) 安全・安心なまちの形成

洪水などの災害リスクの回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を推進します。

(3) 分野別の方針

①土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none"> ・副次都市拠点である不二越駅周辺から稲荷町駅周辺に至る市街地に、地域商業地区を位置付け、公共交通の活性化や歩行者空間の整備と併せて、最寄り品小売業や金融機関、公共公益施設の充実を図ります。
産業系	<ul style="list-style-type: none"> ・不二越周辺や新庄地区、荒川地区など市街地内の既存工業地は、工業地区として位置付け、大規模工場や機械工業などの産業集積を図ります。 ・国道8号と国道41号の結節点に位置する富山問屋センターは、流通業務地区として位置付け、流通業務に関連した店舗や事業所などの誘導を図ります。 ・流杉PAスマートIC周辺での産業立地を検討します。 ・国道8号の沿線は工業地区として位置付け、産業の集積を図ります。
住宅系	<ul style="list-style-type: none"> ・富山地方鉄道本線以南の市街地は、戸建住宅を主体とした住宅専用地区とし、良好な住環境の形成を図ります。 ・富山地方鉄道の本線や不二越・上滝線の沿線は、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区とし、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地として形成します。 ・工業地区や流通業務地区周辺の市街地は、複合用途地区とし、工業、流通業務、商業、居住が調和した住宅地として形成します。 ・公共交通が便利な圏域では、公共交通の活性化や生活関連機能の充実と併せて居住の誘導を図ります。 ・空き地・空き家の適正な管理や有効活用などにより、安全・安心な住環境の形成に努めます。
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の南側に位置する農地は、農業保全地域として、虫食いの農地転用を抑制し、良好な営農環境を保全します。 ・集落地域では、既存コミュニティを活かし、良好な生活環境の形成に努めます。

②交通体系の方針

公共交通

- ・あいの風とやま鉄道線、富山地方鉄道本線、不二越・上滝線の利便性向上と持続性の確保を図るため、ダイヤの改善、老朽化した施設・設備の更新や改良などを進めます。
- ・公共交通軸であるバス路線は、快適性の向上など機能強化を図るとともに、生活の足を確保するため、生活バス路線などの維持や機能確保に努めます。
- ・稲荷町駅周辺などでは、駅関連施設の整備などにより、利用環境の改善や利用圏域の拡大を推進します。
- ・新富山口駅周辺では、駅周辺の交通環境や利用状況などを踏まえ、駐車場の充実など利用環境の改善や利用圏域の拡大に努めます。

道路

- ・地域高規格道路である富山外郭環状道路の構想検討や国道８号豊田新屋立体の整備を促進します。
- ・都心地区や拠点とをつなぐ（都）下赤江新庄線・（都）経堂中間島線などの整備を推進します。
- ・合口橋の更新など、橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。

③その他の都市施設や機能の方針

公園・緑地、レクリエーション

- ・地区公園である山室二区公園及び近隣公園である天正寺公園を整備します。
- ・常願寺川沿いは、河川と一体となった緑地を形成するとともに、河川敷に広がる朝日運動広場や大日運動広場での便民施設の充実により、スポーツ・レクリエーションの場の形成を図ります。

河川・水路、上水道、下水道

- ・宮路川や中川では、治水機能の向上を図ります。
- ・常願寺川左岸では、堤防の強化を図るため、堤防整備事業などを進めます。
- ・避難所などに接続する上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・新庄東部第２汚水中継ポンプ所などにおいて下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・土地利用に即した下水道整備のあり方を検討します。
- ・市民が安全に生活できるよう向新庄第二排水区において浸水対策を推進します。

④都市の質に関する方針

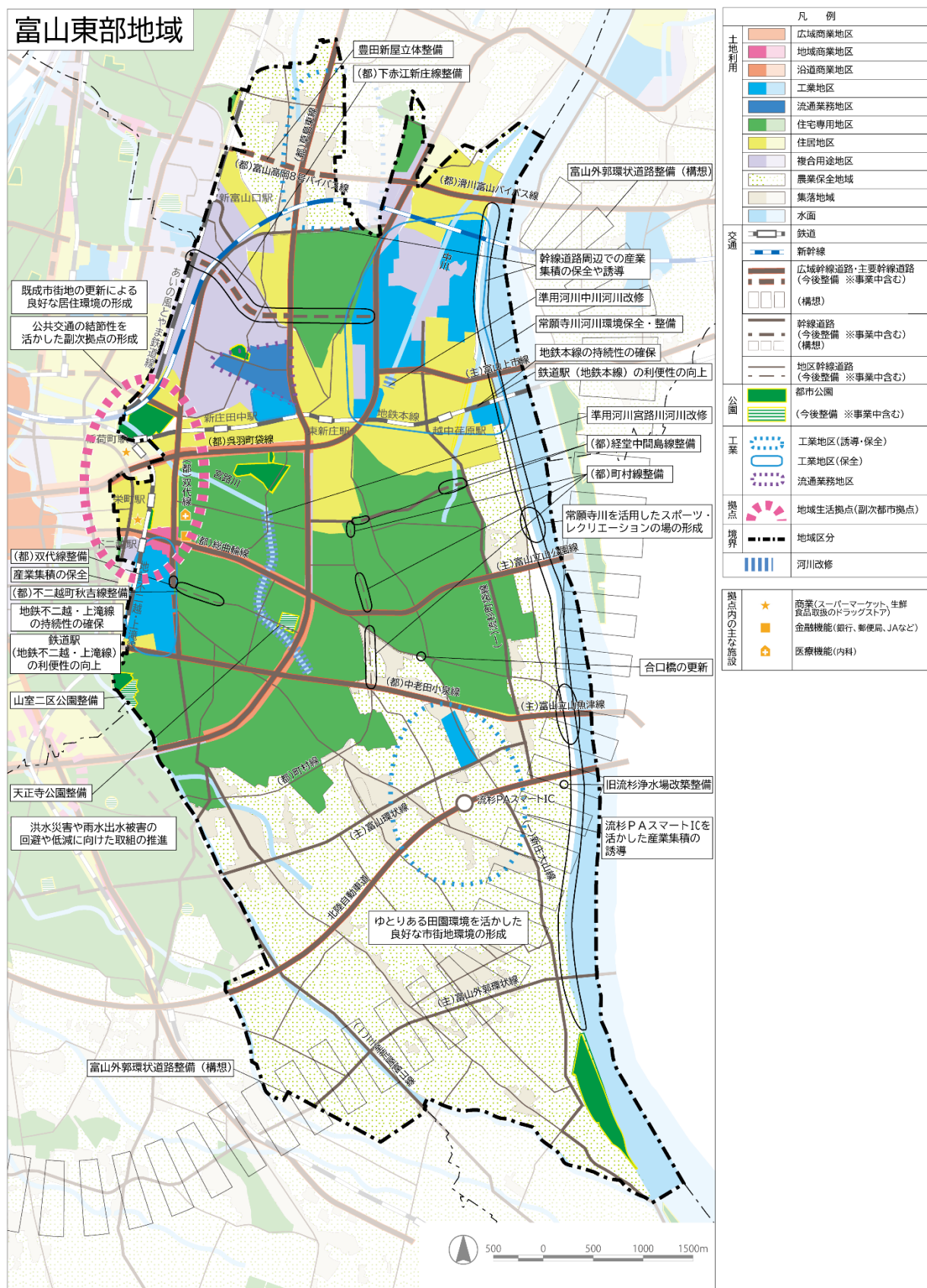
環境、景観、ユニバーサルデザイン

- ・公共交通が便利な圏域を中心に、誰もが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保や公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。

防災・防犯

- ・洪水災害や雨水出水など危険性の高い箇所では、そのリスクに応じて、居住誘導や新市街地の整備の抑制、災害リスク情報の周知・啓発などにより被害を回避・軽減するための取組を進めます。
- ・居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

■まちづくり方針図



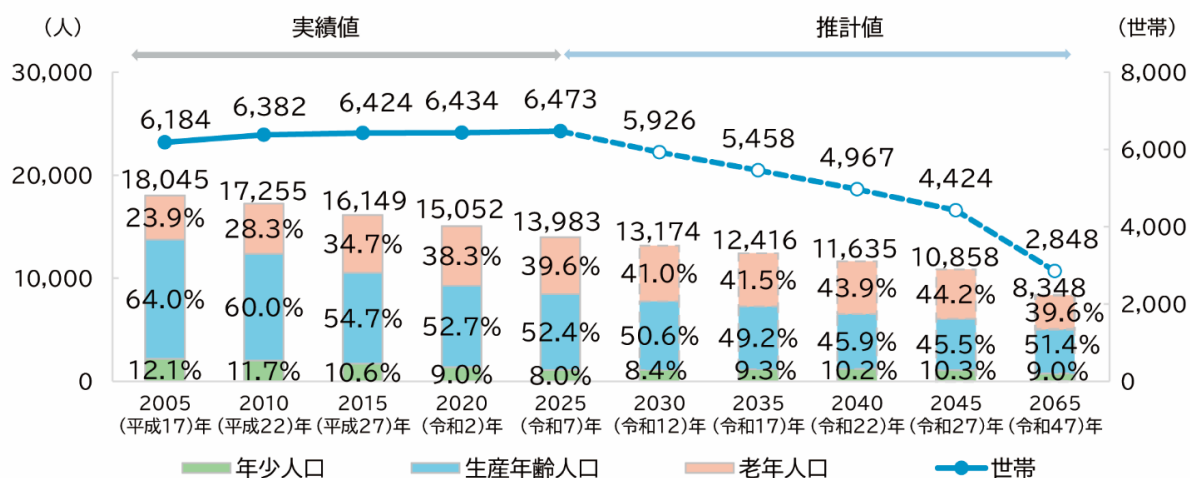
8 水橋地域

(1) 地域の現状

①人口・世帯数

人口と世帯数は既に減少傾向にあり、2025（令和7）年時点で 13,983 人、高齢化率は 39%と高く、今後の人口減少の進展により高齢化率は4割を超える見込みです。

■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

②歴史・文化

沿岸部では、水橋漁港を中心に、神社や歴史的建造物などが立地する港町の街並みが形成されています。また、新鮮な海産物を提供する食堂が漁港に隣接し、水産加工品に関する観光施設も立地しています。さらに、地域固有の祭りも行われています。

③自然・レクリエーション・景観

海洋レクリエーションの拠点である水橋フィッシャリーナが整備され、親水防波堤での釣りや散策を楽しむことができ、豊富な地下水を活用した温泉施設も集積しています。

また、地域内には、富山湾、常願寺川、豊かな田園があり、立山連峰を一望することができ、農地の大区画化、スマート農業の導入による農作業の効率化や新規就農の確保などにより、豊かな田園風景を守る農業振興に向けた取組が進められています。

④公共交通

あいの風とやま鉄道線の水橋駅や富山地方鉄道本線の越中三郷駅が立地し、バス路線や水橋コミュニティバスがあります。

⑤土地利用

地域生活拠点である水橋駅周辺を中心に、義務教育学校である水橋学園が立地し、住宅と商業用地が混在した市街地が広がり、国道8号沿線や常願寺川沿いには、企業団地が整備され、工業用地が広がっています。

また、畑や水田などの農地が地域の5割を占めており、市平均より割合が高くなっています。

⑥災害リスク

富山湾、常願寺川、白岩川などに隣接し、木造住宅の密集地などもあることから、豪雨時の洪水の影響や地震時に短時間で到達する津波などの懸念があります。

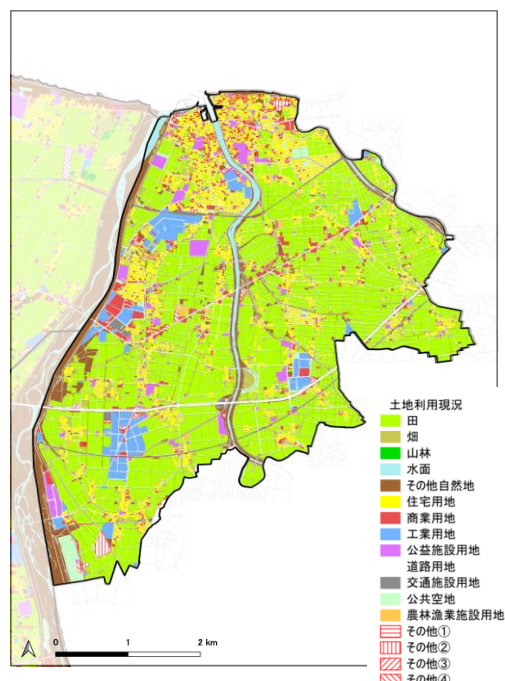
⑦生活行動

日常の買い物の約6割が自地域内で行われていますが、通勤・通学や通院は2～3割程度となっています。

⑧地域のつながり

地形や環境、市民の生活行動から、沿岸部の和合地域や富山北部地域と強いつながりがあります。

■土地利用現況と面積比率



出典：都市計画基礎調査（令和5年度）

<市民ワークショップでの提案>

<p>《地域の魅力》</p>	<p>◇豊かな自然 （海・山・川の資源や風景、立山連峰などの眺望、水橋漁港や温浴施設などの固有の施設）</p> <p>◇住みやすさ・暮らしやすさがある （複数の公共交通、水橋会館などの施設の充実、祭りなどを通じた地域のつながり、水橋学園の完成、農業漁業から工業団地まで働く場の充実）</p>
<p>《20年後の地域の将来イメージ》</p>	<p>『LOVE・元気・かけはし水橋』</p> <p>『みずみどりが映える、笑顔があふれる、変化を恐れない楽しむ、よかったね水橋』</p>

(2) まちづくりの目標

水橋地域では、海や川の豊かな自然環境やレクリエーションの場、産業の集積などを活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。

i) 豊かな自然環境やレクリエーションの場を活用した地域拠点の形成

水橋駅周辺において、生活機能などを維持するとともに、水橋漁港や白岩川周辺の水辺空間、新たな公園などの自然環境やレクリエーションの場を活かし、市民や来街者の都市活動を生み出す地域拠点を形成します。

ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成

あいの風とやま鉄道や富山地方鉄道本線の活性化と連携して、沿線の諸機能を活かし、また既成市街地の更新を促すことで、良好な居住環境を形成します。

iii) 拠点などを結ぶ公共交通や主要な道路の適正な保全や整備

水橋駅周辺の市街地や既存集落などを結ぶ公共交通や主要な道路を適正に整備・保全し、周辺地域との円滑な移動環境を形成します。

iv) 海岸などの自然環境や水田など営農環境の保全

海岸などの豊かな自然環境や水田などの営農環境の保全を推進します。

v) 国道8号との結節性を活かした産業集積の保全や誘導

国道8号との結節性を活かし、産業集積の保全や誘導を図ります。

vi) 安全・安心なまちの形成

津波などの災害リスクの回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を推進します。

(3) 分野別の方針

①土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none"> ・水橋駅周辺から旧市街地にかけて地域生活拠点では、水橋中部地区センター周辺を地域商業地区として位置付け、風情ある街並みを活かしながら、既存の商店街などを中心に、最寄り品小売業や金融機関、公共公益施設の充実を図ります。
産業系	<ul style="list-style-type: none"> ・常願寺川沿いや（都）滑川富山8号バイパス線沿道の工業団地は、工業地区として位置付け、医薬品、水産加工物などの大規模工場や機械工業などの産業集積を図ります。
住宅系	<ul style="list-style-type: none"> ・水橋駅周辺の住宅地では、身近な生活サービスや公益施設などと調和した住宅地として形成します。 ・地域商業地区周辺の市街地は、戸建住宅を主体とした住宅専用地区として位置付け、良好な住環境の形成を図ります。 ・水橋駅の北側の市街地は、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区として位置付け、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地として形成します。また、北側と南側を工業地区にはさまれた水橋中村付近の市街地は、一定規模の商業や生産を支えるサービス業が立地可能な住居地区として位置付けます。 ・工業地区周辺などは、複合用途地区として位置付け、工業、居住が調和した住宅地として形成します。 ・公共交通が便利な圏域では、公共交通の活性化や生活関連機能の充実と併せて居住の推進を図ります。 ・空き地・空き家の適正な管理や有効活用などにより、安全・安心な住環境の形成に努めます。
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の南側に位置する農地は、農業保全地域として、虫食いの農地転用を抑制し、良好な営農環境を保全します。 ・集落地域では、既存コミュニティを活かし、良好な生活環境の形成に努めます。

②交通体系の方針

公共交通

- ・あいの風とやま鉄道線及び富山地方鉄道本線の利便性向上と持続性の確保を図るため、ダイヤの改善、老朽化した施設・設備の更新や改良などを進めます。
- ・公共交通軸であるバス路線やフィーダーバスは、快適性の向上など機能強化を推進するとともに、生活の足を確保するため、生活バス路線などの維持や水橋コミュニティバスの機能確保に努めます。
- ・水橋駅周辺では、新たな市街地開発による歩行空間の整備などにより、利用環境の改善や利用圏域の拡大に努めます。

道路

- ・地域高規格道路である富山外郭環状道路を構想検討を促進します。
- ・都心地区と拠点とをつなぐ（都）大正町池田町線・（都）大正町館町線などの整備を推進します。
- ・白岩川の河川改修に併せた（都）駅前出町線の水橋大橋の更新を促進します。
- ・陸橋の更新など、橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。

③その他の都市施設・機能の方針

公園・緑地、レクリエーション

- ・水橋駅周辺のみどりの核としての水橋西公園を整備します。
- ・白岩川の河口部では、水辺とのふれあいなど親水機能の向上を図ります。
- ・常願寺川沿いでは、常願寺川緑地を核としてスポーツ活動を主体としたレクリエーションの場の形成を図ります。

河川・水路、上水道、下水道

- ・白岩川では、治水機能の向上と河川環境を整備します。
- ・下条川の治水機能の向上を図るため、上市川への放水路を整備します。
- ・常願寺川右岸では、堤防の強化を図るため、浸透対策事業を進めます。
- ・避難所などに接続する上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・水橋浄化センターなどにおいて下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・土地利用に即した下水道整備のあり方を検討します。

④都市の質に関する方針

環境、景観、ユニバーサルデザイン

- ・公共交通が便利な圏域を中心に、誰もが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保や公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。

防災・防犯

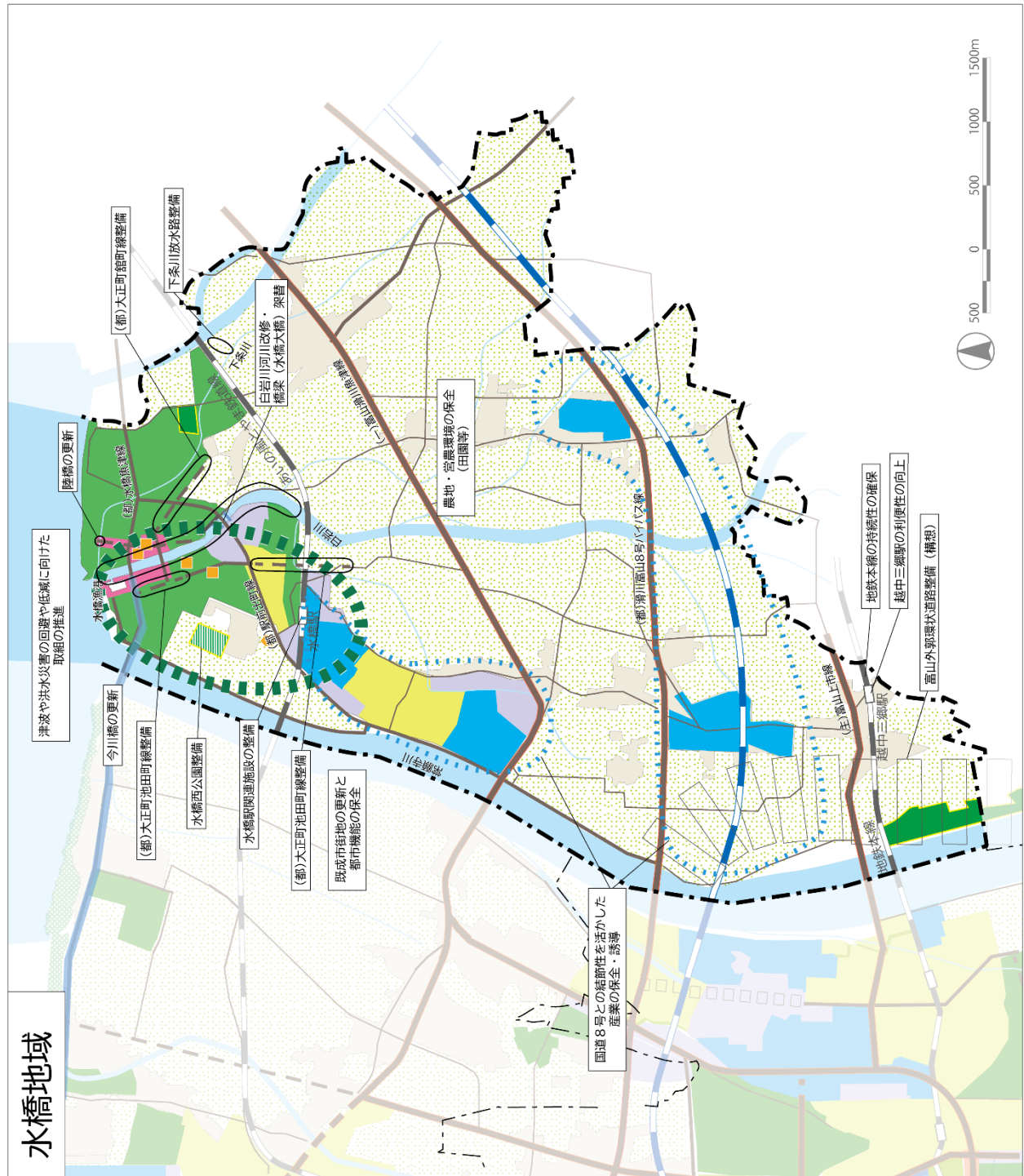
- ・家屋が密集した市街地では、風情ある街並み景観の形成に配慮しつつ、不燃化建物への建て替え誘導など、火災に強いまちづくりに努めます。
- ・洪水や雨水出水、地震時の津波・高潮など危険性の高い箇所では、そのリスクに応じて、居住誘導や新市街地の整備の抑制、災害リスク情報の周知・啓発などにより被害を回避・軽減するための取組を進めます。
- ・居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

■まちづくり方針図

凡 例	
土	地域商業地区
地	工業地区
区	住宅専用地区
画	住宅地区
	複合用途地区
	農業保全地域
	集落地域
	水面
	鉄道
	新幹線
	広域幹線道路、主要幹線道路 (今後整備 ※事業中含む)
	幹線道路 (今後整備 ※事業中含む)
	幹線道路 (今後整備 ※事業中含む)
	地区幹線道路
	都市公園 (今後整備 ※事業中含む)
	工業地区(誘導・保全)
	地域生活拠点(地域拠点)
	地域区分
	河川改修

★	商業(スーパーマーケット、生鮮食品取扱のドラッグストア)
■	金融機能(銀行、郵便局、JAなど)
+	医療機能(内科)

—	フィーターバス
---	---------



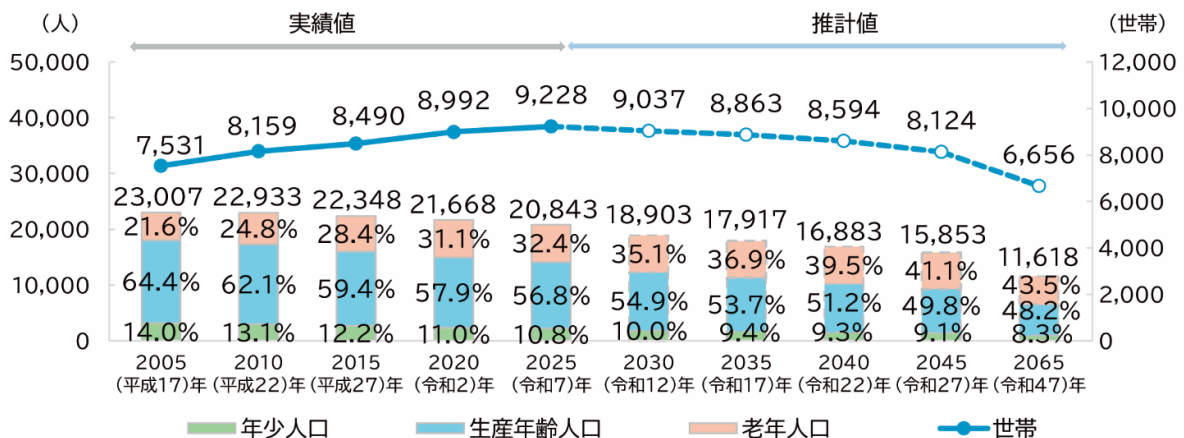
9 大沢野地域

(1) 地域の現況

①人口・世帯数

人口は減少しており、2025（令和7）年の人口は20,843人、高齢化率が32%と3割を超えており、今後は世帯数が減少に転じ、高齢化率も4割まで高まる見込みです。

■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

②歴史・文化

地域内には、国指定史跡の直坂遺跡や国登録有形文化財の笹津橋などがあり、歴史的資源を身近に感じることができます。

また、船峠用水は、歴史の体験学習ができる貴重な文化資源となっています。

さらに、古くから伝わる祭りが地域の伝統文化として保存されています。

③自然・レクリエーション・景観

豊かな田園地帯を活かした農の恵みや特産品があり、地産地消を促進する産地直売所が立地しています。神通川沿いでは、豊かな自然を活かした温泉施設やアウトドア施設が整備され、様々な野外アクティビティを体験できます。

また、猿倉山森林公園からの眺望・寺家公園の桜や紅葉、神通川さくら堤などでは、豊かな自然景観に出会うことができます。

④公共交通

J R 高山本線の笹津駅が立地し、都心地区へ向かう国道41号のバスなど複数のバス路線やシルバータクシーがあります。

⑤土地利用

地域生活拠点である笹津駅周辺から国道41号の沿線を中心に、住宅と商業用地が混在した市街地が広がり、市街地の周辺には、企業団地が整備され、工業用地が集積しています。また、市街化区域のほか、集落地域にも低未利用地が存在しています。

畑や水田などの農地が地域の2割を占めており、市平均と比較すると割合が高くなっています。

⑥災害リスク

河岸段丘上に位置した住宅地であり、豪雨による洪水などの影響を受けにくいですが、局所的に土砂災害などの懸念があります。

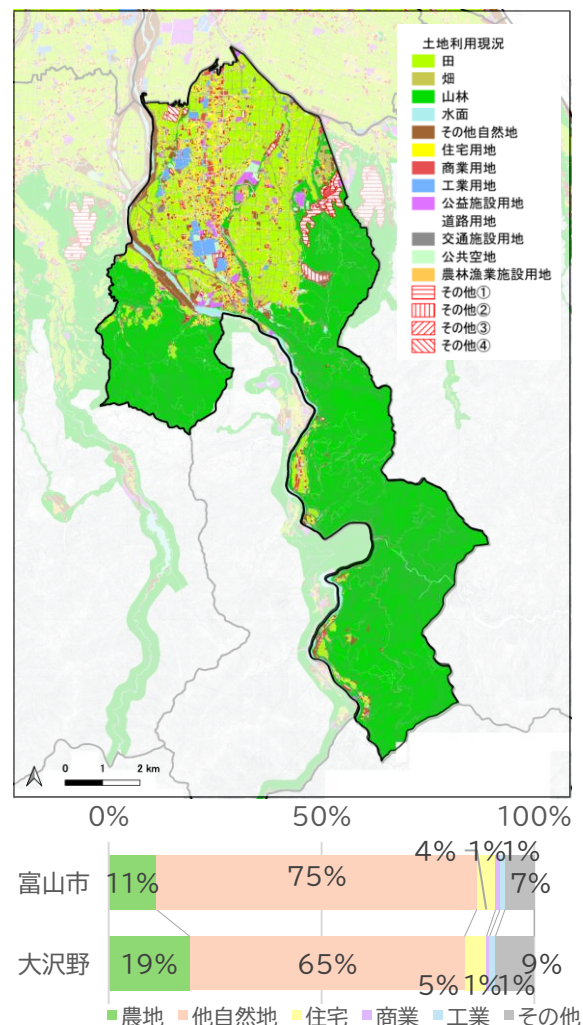
⑦生活行動

日常の買い物の約9割、通院の半数程度が自地域内で行われていますが、通勤・通学やその他買い物、文化・スポーツは2～3割程度となっています。

⑧地域のつながり

地形や環境、市民の生活行動から細入地域と強いつながりがあります。

■土地利用現況と面積比率



出典：都市計画基礎調査（令和5年度）

<市民ワークショップでの提案>

《地域の魅力》	<p>◇伝統文化（伝統芸能、高砂山願念坊祭りなどの祭事、山車、直坂遺跡や船倉用水などの文化資源）</p> <p>◇地域への愛着（地域のつながり、祭事などを通じた活発なコミュニティ、温浴施設などで高齢者がいきいきと暮らせる環境）</p> <p>◇自然資源（猿倉山などの眺望や景観、寺家公園の桜や紅葉、神通峡や春日温泉郷、地場産直売所）</p>
《20年後の地域の将来イメージ》	『自然豊かで先祖を大切にするうん“米”まち』

(2) まちづくりの目標

大沢野地域では、商業施設や文化施設などの集積、神通川周辺の温浴・スポーツ施設や景勝地などを活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。

i) 生活に必要な機能が充実した国道 41 号沿線などでの生活拠点の形成

笹津駅周辺や国道 41 号沿線において、公共交通の利便性と商業施設や文化施設などが集積する環境を活かし、生活サービスや文化・交流機能の維持・充実に努めます。

ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成

J R 高山本線や幹線バス路線の活性化と連携して、沿線の諸機能を活かし、また既成市街地の更新を促すことで、良好な居住環境を形成します。

iii) 神通川周辺の資源を活かした自然・レクリエーションの場の形成

神通川周辺の温浴・スポーツ施設、景勝地などを活かし、市民や来街者が自然・レクリエーションに親しめる場を形成します。

iv) 豊かな自然環境や営農環境の保全

水田や中山間地域での棚田などの営農環境、森林・水源などの自然環境を保全します。

v) 広域物流に優位な交通環境を活かした産業の誘導

国道 41 号や富山 IC との結節性を活かし、産業の保全や誘導を図ります。

vi) 安全・安心なまちの形成

土砂災害などのリスク回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を推進します。

(3) 分野別の方針

①土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none"> 生活拠点である笹津駅周辺と大沢野行政サービスセンター周辺は、地域商業地区として位置付けます。笹津駅周辺の駅前商店街を中心とする地区では、公共交通の活性化と併せて、最寄り品小売業などの身近な生活サービス施設の集積を促進します。大沢野行政サービスセンター周辺では、公共公益施設の充実を図ります。
産業系	<ul style="list-style-type: none"> 中大久保地区や高内地区などの既存工業地は、国道 41 号へのアクセス性を活かした工業地区として位置付け、医薬品や電子部品、航空機部品などのものづくり産業の育成を図ります。
住宅系	<ul style="list-style-type: none"> 生活拠点である国道 41 号沿道の住宅地では、身近な生活サービスや公益施設などと調和した住宅地として形成します。 (都) 中央幹線(国道 41 号)背後の市街地は、戸建住宅を中心とした住宅専用地区として位置付け、良好な住環境の形成を図ります。 地域商業地区や工業地区周辺などの住宅地は、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区として位置付け、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地として形成します。 (都) 中央幹線(国道 41 号)沿道や工業地区周辺は、複合用途地区として位置付け、沿道施設やサービス機能などと調和した住宅地として形成します。 公共交通が便利な圏域では、公共交通の活性化や生活関連機能の充実と併せて居住の推進を図ります。 空き地・空き家の適正な管理や有効活用などにより、安全・安心な住環境の形成に努めます。
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none"> 市街地の東側と西側に位置する農地は、農業保全地域として、虫食いの農地転用を抑制し、良好な営農環境を保全します。 山間部に近い農地は、粗放的な農地管理を導入するなど、管理レベルの強弱により、営農環境を保全します。 集落地域では、既存コミュニティを活かし、良好な生活環境の形成に努めます。 地域の南部に広がる森林は、森林環境保全地域として、豊かな自然環境や景観の保全を図るとともに、森林を活かしたレクリエーションの場としての利活用を図ります。

②交通体系の方針

公共交通

- J R 高山本線の利便性向上と持続可能性の確保を図るため、ダイヤの改善、老朽化した施設・設備の更新や改良などを進めます。
- 公共交通軸である国道 41 号のバス路線は、快適性の向上など機能強化を図るとともに、生活の足を確保するため、生活バス路線などの維持や機能確保に努めます。
- 国道 41 号のバス停周辺では、駐輪場の整備などにより、利用環境の改善や利用圏域の拡大を図ります。

道路

- ・地域高規格道路の富山高山連絡道路である（都）富山南線・猪谷楡原道路の整備を促進します。
- ・市街地の骨格を形成する（都）西幹線・（都）長附加納線・（都）高内稲代幹線などの整備を進めます。
- ・観光橋や神峡橋の大規模修繕など、橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。

③その他の都市機能・施設の方針

公園・緑地、レクリエーション

- ・笹津駅周辺は市民や来街者が、春日温泉や猿倉山、国登録有形文化財に指定された笹津橋、神通峡などの資源にアクセスできる環境を形成します。

河川・水路、上水道、下水道

- ・神通川右岸では、堤防の強化を図るため、急流河川対策事業を進めます。
- ・避難所などに接続する上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・大沢野浄化センターなどにおいて下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・土地利用に即した下水道整備のあり方を検討します。
- ・市民が安全に生活できるよう大沢野東排水区において浸水対策を推進します。
- ・上大久保浄水場及び旭ヶ丘配水池に接続する基幹管路の耐震化を推進します。

④都市の質に関する方針

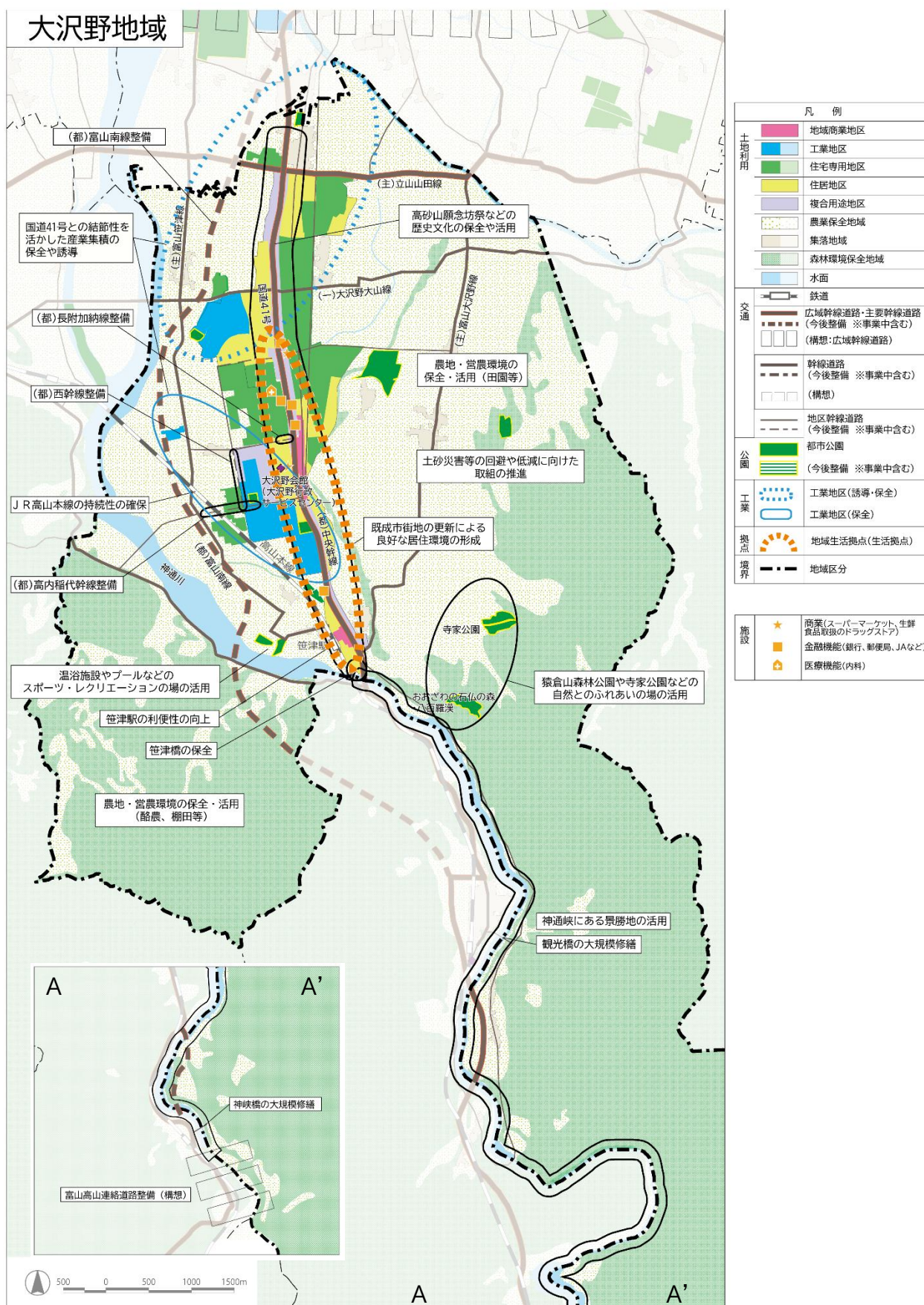
環境、景観、ユニバーサルデザイン

- ・公共交通が便利な圏域を中心に、誰もが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保や公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。
- ・神通峡などでは森林の適切な保全を通じて、特色ある自然景観の保全を図ります。

防災・防犯

- ・山間部周辺の土砂災害や洪水・雨水出水など危険性の高い箇所では、そのリスクに応じて、居住誘導や新市街地の整備の抑制、災害リスク情報の周知・啓発などにより被害を回避・軽減するための取組を進めます。
- ・居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

■まちづくり方針図



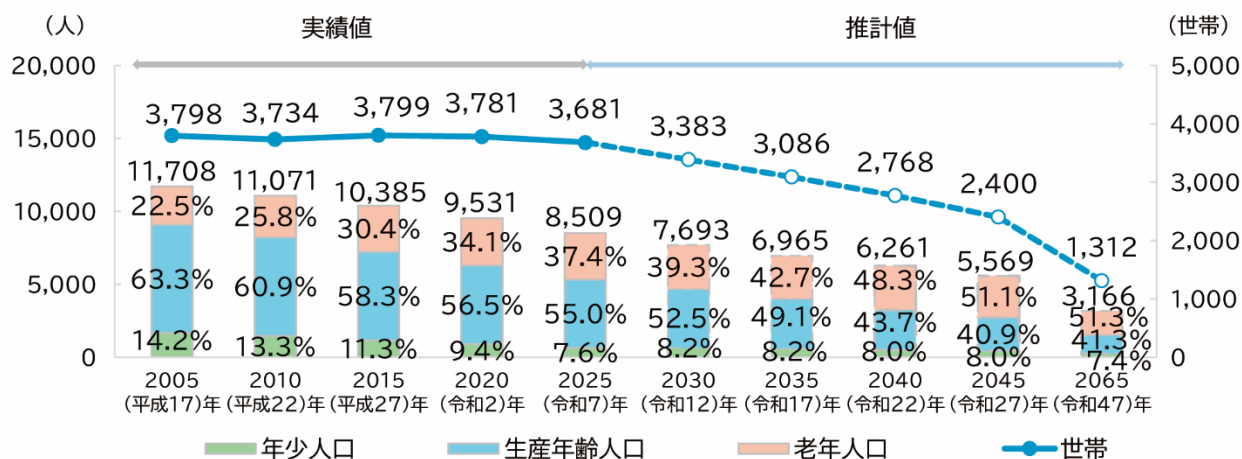
10 大山地域

(1) 地域の現況

①人口・世帯数

人口と世帯数は既に減少しており、2025（令和7）年時点で8,509人、高齢化率は37%と3割を超え、今後の人口減少の進展により高齢化率は5割を超える見込みです。

■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

②歴史・文化

地域内には、県内初の世界かんがい施設遺産である常西合口用水や小水力発電所が多数あります。

また、国の重要文化財にも指定されている本宮砂防えん堤をはじめとした国土保全施設が豊富にあり、立山や常願寺川が作り出す貴重な文化遺産となっています。

③自然・レクリエーション・景観

平野部の常願寺川沿いや常西用水沿いには水辺空間・緑地が整備され、豊かな自然資源を楽しむことができます。

また、中山間地域では、観光と自然体験が一緒に楽しめるスキー場、キャンプ場やリゾート施設が立地し、様々な野外アクティビティを体験できます。

④公共交通

富山地方鉄道不二越・上滝線の大庄駅、上滝駅、大川寺駅、富山地方鉄道立山線の有峰口駅、本宮駅が立地し、市営コミュニティバスなどがあります。

⑤土地利用

地域内の大部分が自然的土地利用を占めており、住宅用地はごく一部となっています。また、低未利用地は、主に上滝駅周辺に存在しています。上滝駅周辺以北では、住宅と農地が混在した市街地が広がっています。

⑥災害リスク

扇状地の頂点部に位置する木造住宅の密集地であり、常願寺川からの洪水や崖地での土砂災害の影響、複合災害の影響が懸念されます。

⑦生活行動

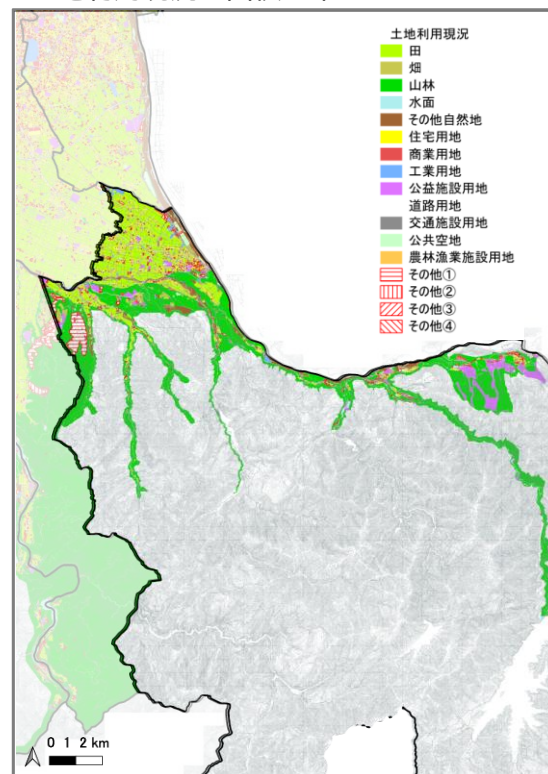
日常の買い物の8割以上、通院の7割以上が市内の他地域で行われています。

なお、富山南部地域が主な行き先となっています。

⑧地域のつながり

地形や環境、市民の生活行動から、富山南部地域と強いつながりがあります。

■土地利用現況と面積比率



出典：都市計画基礎調査（令和5年度）

<市民ワークショップでの提案>

《地域の魅力》	<p>◇公共交通網の充実（オンデマンド交通で駅などへアクセスが良い）</p> <p>◇豊かな子育て環境（保育園や幼稚園から大学までそろっている）</p> <p>◇地域でつながり交流できる環境（コミュニティが活発）</p> <p>◇豊かな自然環境・観光・レクリエーション資源の充実・豊富な文化資源（常願寺川などで川遊び、キャンプ場やスキー場、常西用水や立山カルデラなど）</p> <p>◇災害の少なさ</p>
《20年後の地域の将来イメージ》	『大山学を始めよう！日本一幸せな“限界集落”』

(2) まちづくりの目標

大山地域では、常西合口用水の水辺空間や歴史・文化資源、山岳やスキー場の資源・施設などを活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。

i) 豊かな水辺空間、歴史・文化資源を活用した地域拠点の形成

上滝駅周辺において、生活に必要な機能の立地や、常西合口用水などの水辺空間、歴史・文化資源を活用し、市民や来街者の都市活動の創出を図ります。

ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成

富山地方鉄道不二越・上滝線の活性化と連携して、沿線の諸機能を活かし、また既成市街地の更新を促すことで、良好な居住環境を形成します。

iii) 山岳やスキー場などの資源や施設を活かした自然・レクリエーションの場の形成

有峰湖や立山山麓スキー場などの施設や資源、立山黒部アルペンルートへの経由地としての特性を活かし、市民や来街者が自然環境・レクリエーションに親しめる場を形成します。

iv) 都心や拠点間、主要な施設を結ぶ公共交通や主要な道路の適正な保全や整備

上滝駅周辺の市街地・大山研究学園都市などの主要施設を結ぶ公共交通や主要な道路を適正に整備・保全し、周辺地域との円滑な移動環境を形成します。

v) 豊かな森林や水源など自然環境の保全

森林や水源の適正な管理を推進し、豊かな自然環境の保全を図ります。

vi) 安全・安心なまちの形成

洪水や土砂災害などのリスク回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を進めます。

(3) 分野別の方針

①土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none"> ・地域拠点である上滝駅周辺は、地域商業地区として位置付け、駅周辺及び駅前商店街を中心に、最寄り品小売業や金融機関、公共公益施設の充実を図ります。
住宅系	<ul style="list-style-type: none"> ・田園空間や河川空間に接する市街地の縁辺部は、戸建住宅を主体とした住宅専用地区として位置付け、良好な住環境の形成を図ります。 ・富山地方鉄道不二越・上滝線の北側や上滝駅南側は、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区とし、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地として形成します。 ・地域商業地区と大川寺駅を結ぶ道路の沿道は、複合用途地区として位置付け、商業、居住が調和した住宅地として形成します。 ・公共交通が便利な圏域では、公共交通の活性化や生活関連機能の充実と併せて居住の誘導を図ります。 ・空き地・空き家の適正な管理や有効活用などにより、安全・安心な住環境の形成に努めます。
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none"> ・富山国際大学や職藝学院などの集積を活かした教育機能や関連施設などの充実により、周辺の自然環境との調和に配慮しつつ、学術文化の場としての形成を図ります。 ・地域の北西部に位置する農地は、農業保全地域として、虫食いの農地転用を抑制し、良好な営農環境を保全します。 ・山間部に近い農地は、粗放的な農地管理を導入するなど、管理レベルの強弱により、営農環境を保全します。 ・集落地域では、既存コミュニティを活かし、良好な生活環境の形成に努めます。 ・地域の南部に広がる森林は、森林環境保全地域として、豊かな自然環境や景観の保全を図るとともに、森林を活かしたレクリエーションの場の形成に努めます。

②交通体系の方針

公共交通

- ・富山地方鉄道不二越・上滝線の利便性向上と持続性の確保を図るため、ダイヤの改善、老朽化した施設・設備の更新や改良などを進めます。
- ・生活の足を確保するため、富山地方鉄道立山線の維持やコミュニティバスなどの機能確保に努めます。
- ・上滝駅の周辺などではアクセス道路の整備などにより利用環境の改善を図ります。

道路

- ・都心と拠点をつなぐ（主）富山上滝立山線の整備構想の検討などを促進します。
- ・上滝駅へのアクセス道路として（都）上滝駅前線の整備などを進めます。
- ・雷鳥大橋の大規模修繕など、橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。

③その他の都市施設・機能の方針

公園緑地・まちの緑、レクリエーション

- ・ 殿様林緑地は、みどりの拠点及びスポーツ活動を主体としたレクリエーションの場の形成を図ります。
- ・ 地域の憩いの場であり、良好な水辺景観を形成している常西合口用水沿いの松・桜並木などの保全に努めます
- ・ 立山山麓や有峰湖周辺では、観光・交流機能の充実を進めながら、地域資源を活かしたレクリエーションの場の形成に努めます。

河川・水路、上水道、下水道

- ・ 常願寺川などの砂防・治水・発電施設の適正な保全や活用を推進します。
- ・ 避難所などに接続する上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・ 大山水処理場などにおいて下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・ 土地利用に即した下水道整備のあり方の検討を推進します。
- ・ 上滝浄水場及び浄水場に接続する基幹管路の耐震化を推進します。

④都市の質に関する方針

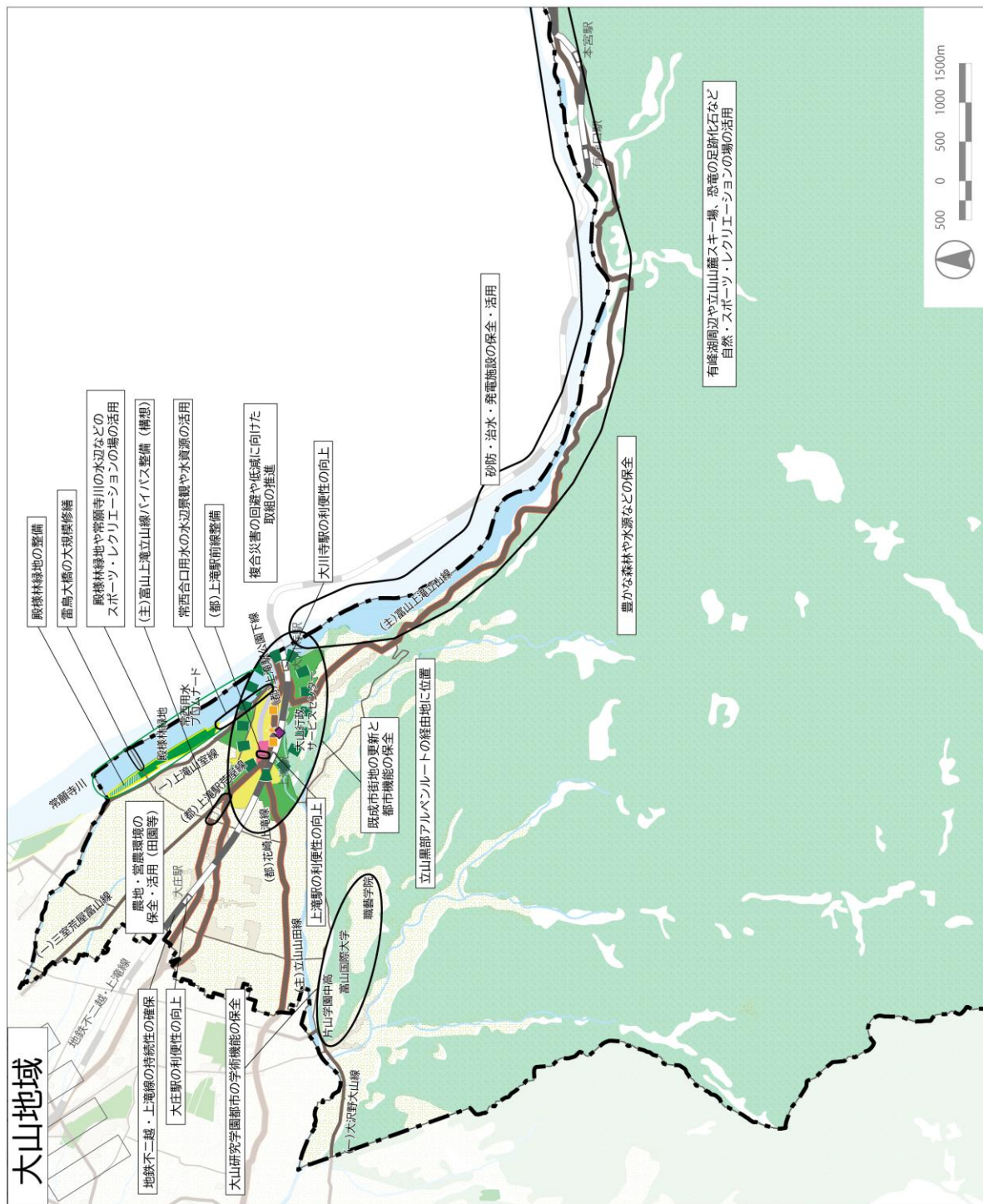
環境、景観、ユニバーサルデザイン



























- ・ 公共交通が便利な圏域を中心に、誰もが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保や公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。
- ・ 常願寺川沿いでは、佐々堤・太田閘門・殿様林など治水に関わる歴史・文化資源や旧街道沿いの歴史的建造物の保全・活用に努め、歴史的景観の形成を図ります。

防災・防犯

- ・ 土砂災害や洪水・雨水出水など危険性の高い箇所では、そのリスクに応じて、居住誘導や新市街地の整備の抑制、災害リスク情報の周知・啓発などにより被害を回避・軽減するための取組を進めます。
- ・ 居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

■まちづくり方針図



凡 例	
土地利用	地域商業地区 
	住宅専用地区 
	住居地区 
	複合用途地区 
	農業保全地域 
	集落地域 
交通	森林環境保全地域 
	水面 
	鉄道 
公園	主要幹線道路 (今後整備 ※事業中含む) (構想)   
	幹線道路 (今後整備 ※事業中含む) (構想)   
	地区幹線道路 (今後整備 ※事業中含む) 都市公園   
拠点	地域生活拠点(地域拠点)   
	地区区分  
施設	商業(スーパー・マーケット、生鮮食品取扱店のドラッグストア) 金融機能(銀行、郵便局、JAなど) 医療機能(内科)   

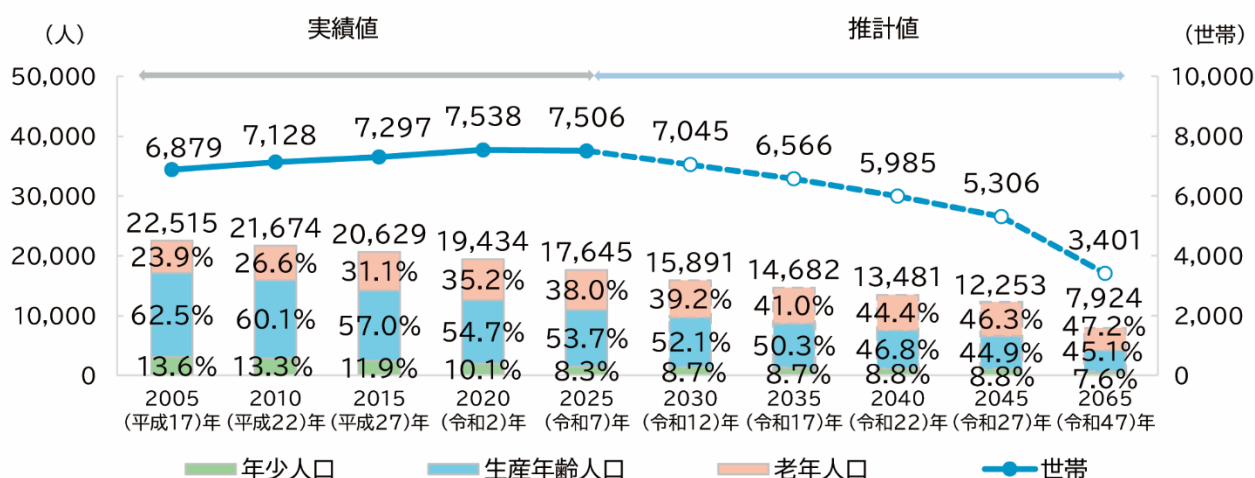
11 八尾地域

(1) 地域の現状

①人口・世帯数

人口や世帯は既に減少しており、2025（令和7）年時点で17,645人、高齢化率は38%と3割を超え、今後の人口減少の進展により、高齢化率は4割を超える見込みです。

■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

②歴史・文化

「越中八尾おわら風の盆」が全国的に有名であり、「越中八尾曳山祭り」は県の有形民俗文化財に指定されているほか、八尾町旧町周辺には資料館などの施設があり、歴史文化を体験することができます。

また、中山間地域などには、城跡などの歴史遺産が点在しています。

③自然・レクリエーション、景観

八尾町旧町周辺には、石垣や石畳など美しい街並み景観があり、諏訪町大通りは日本の道100選に選定されています。

また、中山間地域には、豊かな自然を活かしたスポーツ・レクリエーション施設があり、アクティビティを体験することができます。

④公共交通

JR高山本線の越中八尾駅と東八尾駅が立地し、複数のバス路線や市営コミュニティバスがあります。

⑤土地利用

生活拠点である越中八尾駅周辺を中心に、住宅と商業用地が混在した市街地が広がり、地域の北西には、富山八尾中核工業団地が整備され、工業用地が広がっています。また、用途地域のほか、集落地域に低未利用地が存在しています。

地域の9割が山林などの自然的土地利用となっており、市平均よりも割合が高くなっています。

⑥災害リスク

扇状地の頂点部に位置する木造住宅の密集地であり、井田川からの洪水の影響や隣接する崖地での土砂災害の影響が懸念されます。

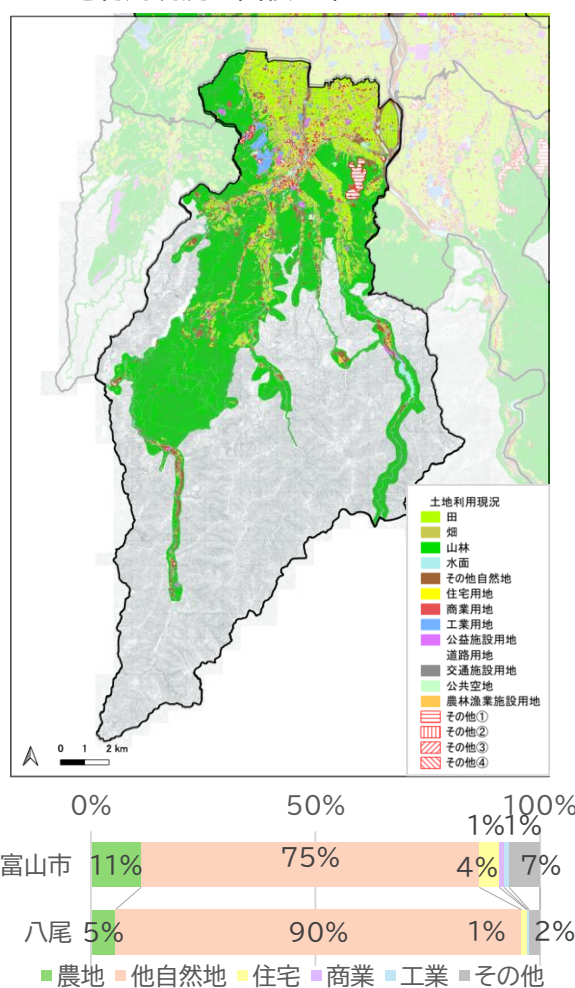
⑦生活行動

日常の買い物の約7割が自地域内で行われていますが、通勤・通学や通院、文化・スポーツは約3割程度となっています。

⑧地域のつながり

地形や環境、市民の生活行動から、婦中地域や山田地域と強いつながりがあります。

■土地利用現況と面積比率



<市民ワークショップでの提案>

《地域の魅力》	<p>◇おわら風の盆や越中八尾曳山祭り</p> <p>◇八尾の街並み景観（美しい街並みと文化的で豊かな暮らし）</p> <p>◇良好な生活環境（適度な密度、自然が豊か、おいしいお米や水）</p> <p>◇富山八尾中核工業団地</p> <p>◇自然を活かしたスポーツ・レジャー施設（サーキット場、温浴施設）</p> <p>◇豊かな自然、農村景観（白木峰、キャンプ場、滞在型の市民農園、地場産の食、温浴施設、山間地の棚田や扇状地の田園など）</p>
《20年後の地域の将来イメージ》	<p>『自然・文化・食を活かせる、共存共栄しつづける八尾（まち）』</p>

(2) まちづくりの目標

八尾地域では、固有の歴史・文化・街並み、周囲の山々や井田川の自然環境などを活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。。

i) 地域固有の歴史・文化・街並みなどを活かした地域拠点の形成

越中八尾駅周辺において、生活に必要な機能の立地や、越中おわら風の盆などの町人文化が息づく歴史・文化、街並みなどを活用して、市民や来街者の都市活動の創出を図ります。

ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成

J R 高山本線の活性化と連携して、沿線の諸機能を活かし、また既成市街地の更新を促すことで、良好な居住環境を形成します。

iii) 周囲の自然環境や施設などを活かした自然・レクリエーションの場の形成

周囲の山々や井田川などの自然環境、城ヶ山公園、東八尾駅周辺の水辺空間などを活かし、市民や来街者が自然環境・レクリエーションに親しめる場を形成します。

iv) 豊かな自然環境や営農環境の保全

水田などの営農環境、周囲の森林や水源などの自然環境の保全を推進します。

v) 先端技術産業の集積を活かした産業の保全

富山八尾中核工業団地を核とした、先端技術産業の保全を図ります。

vi) 安全・安心なまちの形成

洪水や土砂災害などのリスク回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を進めます。

(3) 分野別の方針

①土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none"> ・地域拠点である越中八尾駅周辺及び旧町地区は、地域商業地区として位置付け、歴史的な街並みを活かしながら、最寄り品小売業や金融機関、公共公益施設の充実を図ります。
産業系	<ul style="list-style-type: none"> ・八尾中核工業団地は、工業地区として位置付け、一層の工業振興を支援しながら、先端技術産業などの立地を誘導します。
住宅系	<ul style="list-style-type: none"> ・福島周辺の市街地は、住宅専用地区として位置付け、福島上野周辺では、戸建住宅を主体とした良好な住環境の形成を図ります。 ・旧町周辺の市街地は、住居地区として位置付け、八尾行政サービスセンターなどの公共公益施設や商業施設の利便性を享受できる住宅地として形成します。 ・ＪＲ高山本線以北の井田川沿いは、複合用途地区とし、工業施設やサービス機能などと調和した住宅地として形成します。 ・公共交通が便利な圏域では、公共交通の活性化や生活関連機能の充実と併せて居住の誘導を図ります。 ・空き地・空き家の適正な管理や有効活用などにより、安全・安心な住環境の形成に努めます。
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地の北側に位置する水田を主体とした農地は、農業保全地域として、虫食いの的な農地転用を抑制し、良好な営農環境を保全するとともに、農業体験など、交流の場として活用することを検討します。 ・山間部に近い農地は、粗放的な農地管理を導入するなど、管理レベルの強弱により、営農環境を保全します。 ・集落地域では、既存コミュニティを活かし、良好な生活環境の形成に努めます。 ・自然環境を活かした住まいの提供など、集落維持に努めます。 ・地域の南部に広がる森林は、森林環境保全地域として、豊かな自然環境や景観の保全や森林を活かしたレクリエーションの場の形成に努めます。

②交通体系の方針

公共交通

- ・ＪＲ高山本線の利便性向上と持続性の確保を図るため、ダイヤの改善、老朽化した施設・設備の更新や改良などを進めます。
- ・生活の足を確保するため、生活バス路線の維持やコミュニティバスなどの機能確保に努めます。
- ・越中八尾駅周辺では、バスとの連携強化やパーク＆ライド駐車場の拡充などによる利用環境の改善や利用圏域の拡大を推進します。

道路

- ・都心間や拠点間の形成を支える道路として、（主）立山山田線・（都）高熊井田線などの整備を促進します。
- ・新井田橋の大規模修繕など、橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。

③その他の都市施設・機能の方針

公園緑地・まちの緑、レクリエーション

- ・城ヶ山公園を地域拠点におけるみどりの核として維持します。
- ・神通川沿いでは、神通川水辺プラザを核としたレクリエーション場の形成に努めます。
- ・白木峰周辺や久婦須川ダム周辺では、地域資源を活かしたレクリエーションの場の形成に努めます。

河川・水路、上水道、下水道

- ・峠川では、治水機能の向上と河川環境を整備を推進します。
- ・井田川左岸では、堤防の強化を図るため、堤防整備事業を促進します。
- ・避難所などに接続する上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・杉田西汚水中継ポンプ所などにおいて下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・土地利用に即した下水道整備のあり方の検討を推進します。
- ・下井田新浄水場及び小長谷低区配水池、これらの施設に接続する基幹管路の耐震化を推進します。

④都市の質に関する方針

環境、景観、ユニバーサルデザイン

- ・公共交通が便利な圏域を中心に、誰もが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保や公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。
- ・旧町地区は、諏訪町本通りをはじめとした特徴ある街並みや歴史的建造物を活かして、歴史的な町並み景観の形成を図ります。

防災・防犯

- ・土砂災害や洪水や雨水出水など危険性の高い箇所では、そのリスクに応じて、居住誘導や新市街地の整備の抑制、災害情報の周知・啓発などにより被害を回避・軽減するための取組を進めます。
- ・崖崩れなどのリスクがある諏訪町などでは、斜面地の防災対策として、急傾斜地崩壊対策を促進します。
- ・居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

■まちづくり方針図



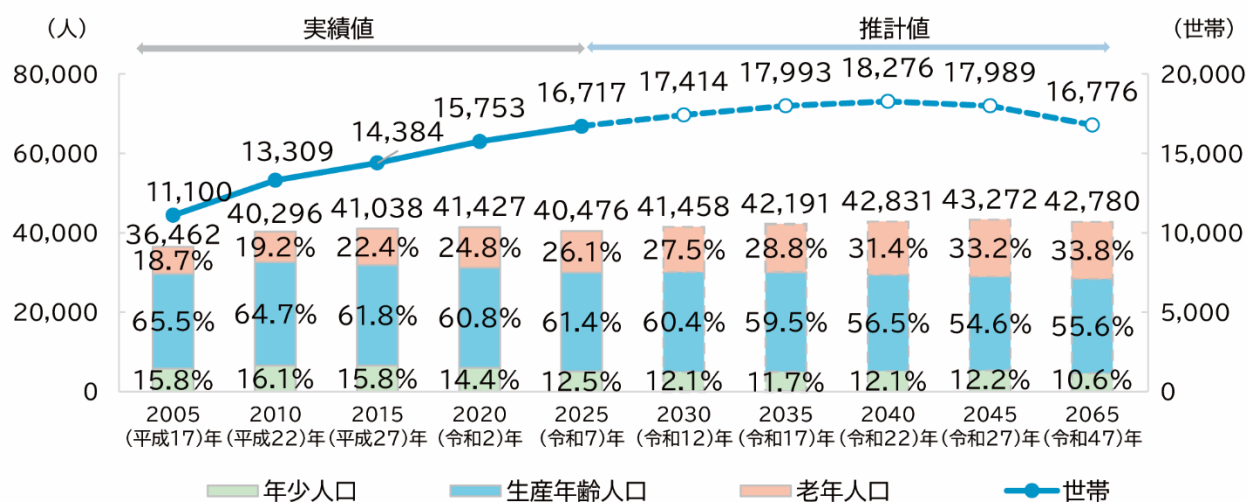
12 婦中地域

(1) 地域の概要

①人口・世帯数

人口は一定数で推移しており、2025（令和7）年時点で40,476人、高齢化率は26%であり、今後は人口・世帯数とも増加するものの高齢化率は3割を超える見込みです。

■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

②歴史・文化

地域内には、寺院や古墳、城址などの遺跡や景勝地などが多く存在し、歴史・文化資源の宝庫となっています。

また、婦中ふるさと創生館などの施設、「ふちゅう曲水の宴」、「安田城月見の宴」などのイベントを通して、歴史文化の学習や体験をすることができます。

③自然・レクリエーション・景観

都市近郊の豊かな自然や中山間地域から平野部までの多様な環境を活かした果樹園、博物館、植物園、牧場が立地し、自然と身近に触れ合うことができます。

また、地域内に白鳥の飛来地もあり、自然豊かな環境が維持されています。

④公共交通

J R 高山本線の婦中鵜坂駅、速星駅、千里駅の3つの駅が立地し、複数のバス路線や地域自主運行バスがあります。

⑤土地利用

地域生活拠点である速星駅周辺から国道 359 号の沿線を中心に、住宅と商業用地が混在した市街地が広がり、市街地の周辺には、企業団地が整備され、工業用地が集積しています。また、郊外の農地や森林に大規模な低未利用地が存在しています。

畑や水田などの農地が地域の 3 割を占めており、市平均と比較すると割合が高くなっています。

⑥災害リスク

市街地は河川にはさまれており、垂直避難が困難となるような洪水の影響が懸念されます。

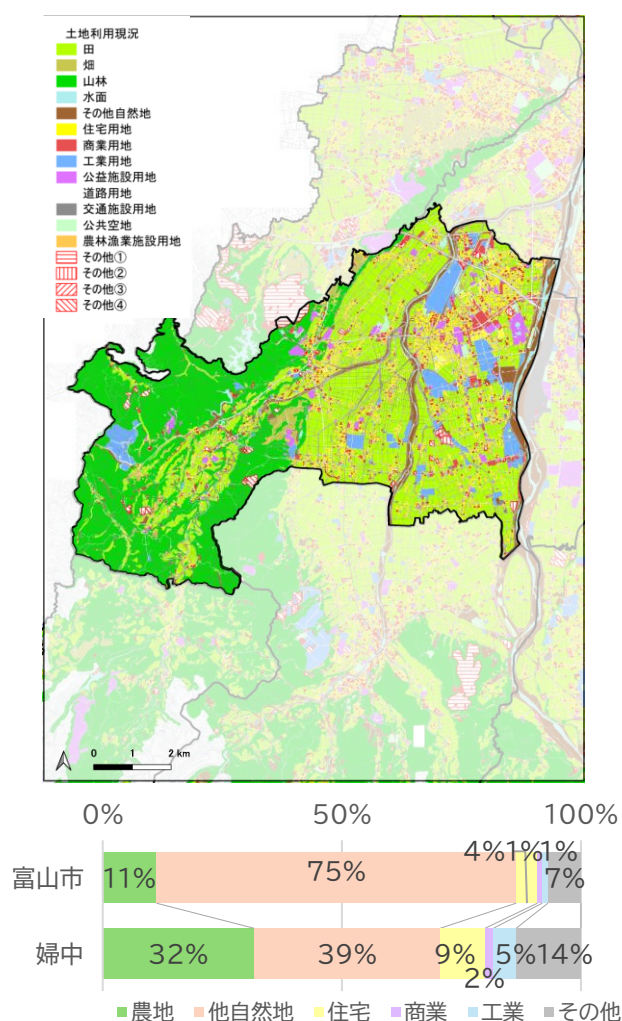
⑦生活行動

通勤・通学の約 7 割が他地域で行われていますが、日常の買い物や通院、文化・スポーツなどの活動は 6 割以上が自地域内で行われています。

⑧地域のつながり

地形や環境、市民の生活行動から八尾地域や山田地域と強いつながりがあります。

■土地利用現況と面積比率



出典：都市計画基礎調査（令和5年度）

<市民ワークショップでの提案>

《地域の魅力》	<p>◇ファボーレ周辺の賑わい（広域の集客、アミューズメントの充実）</p> <p>◇歴史、文化資源の宝庫（ふるさと自然公園、史跡安田城跡、史跡王塚・千坊山遺跡群、城址、寺社仏閣、獅子舞や神輿、ふちゅう曲水の宴などのイベントなど）</p> <p>◇豊かな田園、営農環境（田園景観、ブドウやスイカなどの特産物、丘の夢牧場などの里山、ハクチョウの飛来地など）</p> <p>◇速星駅周辺の機能集積、住みやすさ（商業施設の充実など）</p> <p>◇良好な生活環境やコミュニティの形成</p> <p>◇工場の集積</p>
《20年後の地域の将来イメージ》	『地域の誇りと自信に満ち溢れるまち』

(2) まちづくりの目標

婦中地域では、大型商業施設などの集積、里山周辺の自然環境や施設、歴史資源を活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。

i) 速星駅周辺の大型商業施設などの集積を活かした生活拠点の形成

速星駅周辺において、公共交通の利便性と大型商業施設をはじめとした様々な商業施設・病院などが集積する環境を活かし、生活サービスや文化・交流機能の維持・充実を図ります。

ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成

J R 高山本線や幹線バス路線の活性化と連携して、沿線の諸機能を活かし、また既成市街地の更新を促すことで、良好な居住環境を形成します。

iii) 里山周辺の資源などを活かした自然・レクリエーションの場の形成

千里駅周辺などに広がる里山、富山県中央植物園、富山県自然植物園ねいの里、丘の夢牧場などの施設、史跡安田城址や王塚・千坊山遺跡群などの歴史資源を活かし、市民が自然やレクリエーションに親しめる場を形成に努めます。

iv) 豊かな自然環境や営農環境の保全

里山の自然環境、水田や果樹園などの営農環境の保全を進めます。

v) 広域物流に優位な環境を活かした産業の保全・誘導

高速 IC や幹線道路などとの結節性を活かし、産業の保全や誘導を図ります。

vi) 安全・安心なまちの形成

洪水などの災害リスクの回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を進めます。

(3) 分野別の方針

①土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none"> ・生活拠点である速星駅周辺、大規模商業施設周辺は、広域商業地区として位置付け、買い回り品に加えて、最寄り品小売業や金融機関、公共公益施設も充実した魅力ある商業地区として形成します。
産業系	<ul style="list-style-type: none"> ・富山空港周辺やＪＲ高山本線沿線の工業団地などは、交通利便性を活かした工業地区として位置付け、製造業や先端技術産業の集積を図ります。
住宅系	<ul style="list-style-type: none"> ・速星駅周辺や（都）塚原羽根線の沿道などを除く市街地は、戸建住宅を主体とした住宅専用地区として位置付け、良好な住環境の形成を図ります。 ・速星駅周辺や広域商業地区周辺は、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区とし、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地として形成します。 ・（都）塚原羽根線の沿道は、複合用途地区として位置付け、沿道の商業機能などと調和した住宅地として形成します。 ・公共交通が便利な圏域では、公共交通の活性化や生活関連機能の充実と併せて居住の誘導を図ります。 ・空き地・空き家の適正な管理や有効活用などにより、安全・安心な住環境の形成に努めます。
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地を取り囲む農地は、農業保全地域として、虫食いの農地転用を抑制し、良好な営農環境を保全します。 ・山間部に近い農地は、粗放的な農地管理を導入するなどにより営農環境を保全します。 ・集落地域では、既存コミュニティを活かし、良好な生活環境の形成に努めます。 ・地域の西部に広がる森林や田園は、豊かな自然環境や景観の保全を図るとともに、歴史や文化、森林、動植物とのふれあい環境を活かしたレクリエーションの場の形成に努めます。

②交通体系の方針

公共交通

- ・ＪＲ高山本線の利便性向上と持続性の確保を図るため、ダイヤの改善、老朽化した施設・設備の更新や改良などを進めます。
- ・公共交通軸であるバス路線は、快適性の向上など機能強化を図るとともに、生活の足を確保するため、主要なバス路線の維持や生活バス路線及び地域自主運行バスの機能確保に努めます。
- ・速星駅周辺では、バスとの連携強化などにより、利用環境の改善や利用圏域の拡大を推進します。

道路

- ・地域高規格道路である富山外郭環状道路の構想検討を促進します。
- ・宮神橋や新保大橋の大規模修繕など、橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。

③その他の都市施設や機能の方針

公園緑地・まちの緑、レクリエーション

- ・神通川緑地や富山県中央植物園の周辺に広がる、広場やスポーツ施設により、スポーツや自然学習など多様な余暇活動の需要に応えるレクリエーションの場の形成に努めます。

河川・水路、上水道、下水道

- ・宮島川、峠川、坪野川、山田川、井田川では、治水機能の向上を進めます。
- ・井田川左岸では、堤防の強化を図るため、堤防整備事業などを促進します。
- ・避難所などに接続する上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・速星雨水ポンプ場などにおいて下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・土地利用に即した下水道整備のあり方の検討を推進します。
- ・市民が安全に生活できるよう速星排水区において浸水対策を推進します。
- ・東部浄水場に接続する基幹管路の耐震化を推進します。

④都市の質に関する方針

環境、景観、ユニバーサルデザイン

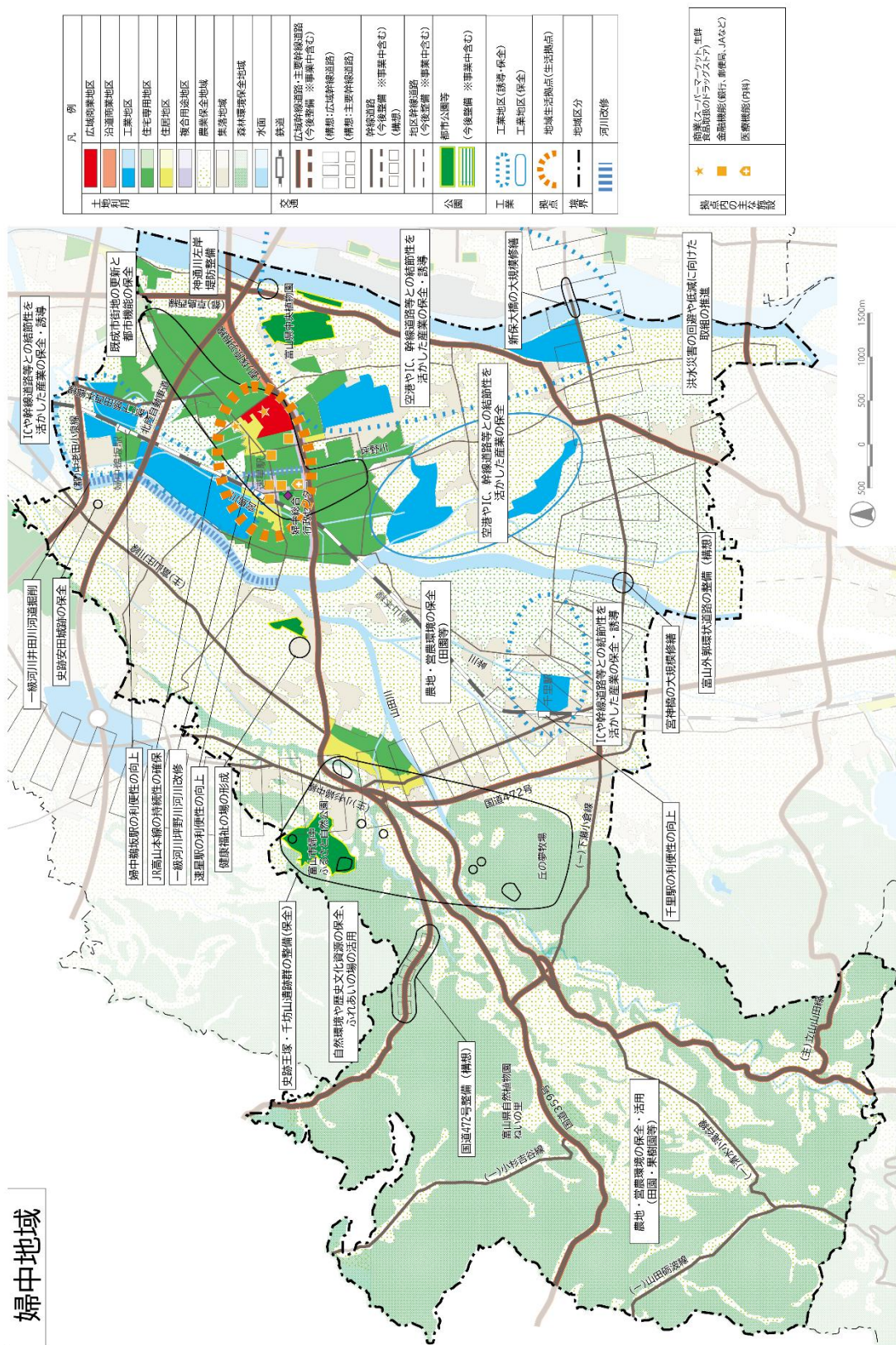
- ・公共交通が便利な圏域を中心に、誰もが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保や公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。
- ・富山県自然博物館ねいの里や富山県立中央植物園などの施設、田園の営農環境、里山などの動植物の自然環境の保全を図ります。

防災・防犯

- ・土砂災害や洪水や雨水出水など危険性の高い箇所では、そのリスクに応じて、居住誘導や新市街地の整備の抑制、災害リスク情報の周知・啓発などにより被害を回避・軽減するための取組を進めます。
- ・居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

■まちづくり方針図

婦中地域



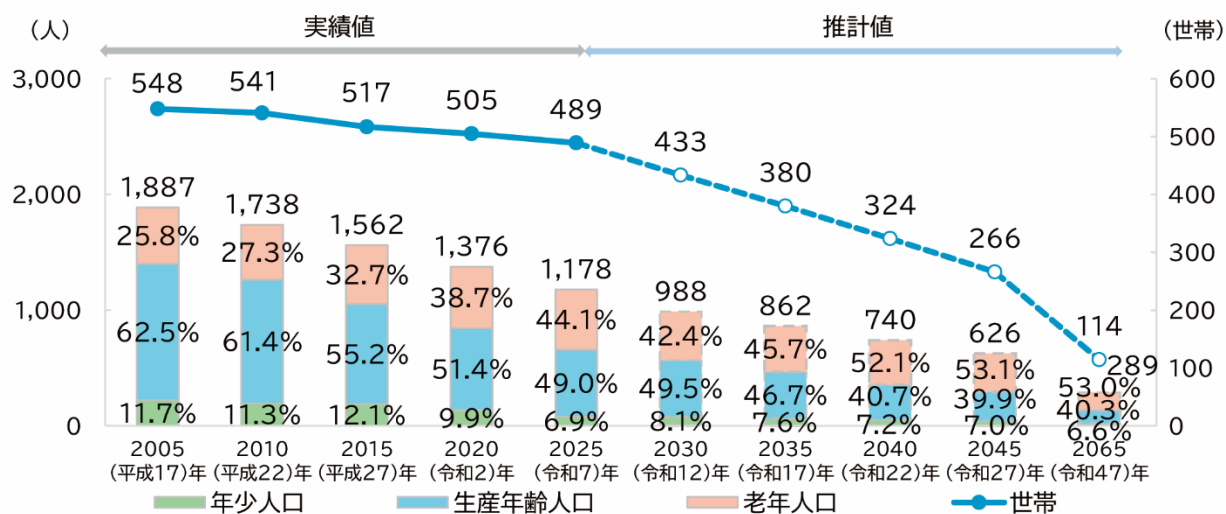
13 山田地域

(1) 地域の現況

①人口・世帯数

人口と世帯数は既に減少しており、2025（令和7）年の人口は1,178人、高齢化率は44%となっており、今後、人口は半数程度になり、高齢化率は5割を超える見込みです。

■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

②歴史・文化

地域内には、ブナ林や大杉、大桜をはじめとする自然資源が点在し、城跡などの歴史遺産があります。

スキー場やキャンプ場など、自然を活かした大規模なレクリエーション施設などが立地し、野外アクティビティを体験できます。

③自然・レクリエーション・景観

棚田の原風景が広がり、高原の台地が育んだ特産品を販売する農産物直売所が立地しています。

また、自然を活かしたスポーツ、レジャー施設を活用し、関係人口の拡大に向けた交流事業が進められており、牛岳からは雄大な眺望景観を楽しむことができます。

④公共交通

生活に密着したコミュニティバスが生活圏や主要施設をカバーしています。

⑤土地利用

地域内の大部分が自然的土地利用を占め、住宅用地はごく一部となっています。

⑥災害リスク

中山間地域に位置し、土砂災害やため池氾濫などの懸念があります。

⑦生活行動

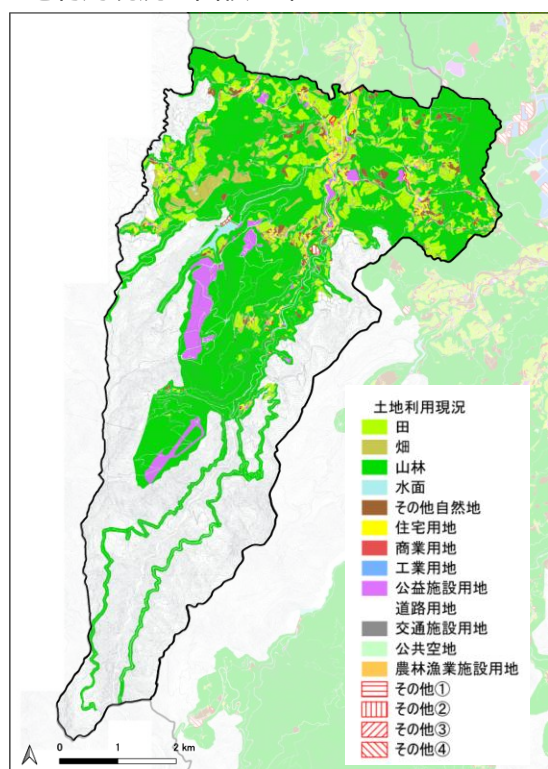
日常の買い物の約9割、通勤・通学の約7割、通院はほぼ全てが他地域内で行われています。

なお、婦中地域や八尾地域が主な行先となっています。

⑧地域のつながり

地形や環境、市民の生活行動から、八尾地域や婦中地域と強いつながりがあります。

■土地利用現況と面積比率



出典：都市計画基礎調査（令和5年度）

<市民ワークショップでの提案>

《地域の魅力》	<p>◇豊かな田園、農村環境（棚田などの環境、標高の高い農地）</p> <p>◇付加価値の高い農作物の栽培（ニラ、大根、ジャガイモ、そば、啓翁桜など）</p> <p>◇自然に囲まれた良好な生活環境</p> <p>◇自然を活かしたスポーツ、レジャー施設（スキー場、キャンプ場、富山市こどもの村、サイクリングロード、温浴施設など）</p> <p>◇一流の田舎として、移住者が増加（市街地まで約30分と身近な中山間地域）</p> <p>◇富山を一望できる眺望景観（富山平野や富山湾を一望）</p>
《20年後の地域の将来イメージ》	『幸せ日本一！の山田』

(2) まちづくりの目標

山田地域では、山岳の自然やスポーツ施設・レクリエーションの場などを活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。

i) 山岳の自然やスポーツ施設・レクリエーションの場を活用した地域拠点の形成

山田中核型地区センター周辺において、生活機能などの維持と、牛岳など山岳の自然環境、スキー場や温浴施設、農作物の販売施設などを活用し、市民や来街者の都市活動の創出を図ります。

ii) 生活交通の維持と既存集落での居住環境の形成

生活交通の維持や既存集落の利活用により、良好な居住環境を形成します。

iii) 主要な道路の適正な保全や整備

越中八尾駅などにつながる主要な道路を適正に整備・保全し、周辺地域との円滑な移動環境を形成します。

iv) 豊かな森林や水源など自然環境の保全

森林や水源の適正な管理を推進し、豊かな自然環境の保全を図ります。

v) 安全・安心なまちの形成

土砂災害などのリスク回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を進めます。

(3) 分野別の方針

①土地利用の方針

農業・ 自然系	<ul style="list-style-type: none">・ 地域生活拠点である山田中核型地区センター周辺は、生活に密着した商業などの生活関連機能の維持に努めます。・ 集落地域では、既存コミュニティを活かし、良好な生活環境の形成に努めます。・ 特徴的な景観を形成している棚田をはじめとした中山間地域に点在する農地は、農業保全地域とし、良好な営農環境を保全するとともに、粗放的な農地管理を導入するなどにより、営農環境を保全します。・ 森林環境保全地域は、豊かな自然環境や景観の保全、森林を活かしたレクリエーションの場の形成に努めます。
------------	--

②交通体系の方針

公共交通

- ・生活の足を確保するため、越中八尾駅を結ぶ市営コミュニティバスの機能確保に努めます。

道路

- ・宿坊大橋や中央橋の大規模修繕など、橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。

③その他の都市施設・機能の方針

公園緑地・まちなみ、レクリエーション

- ・牛岳山麓とスキー場及び牛岳温泉健康センター周辺を中心としたスポーツ・レクリエーション施設は、管理体制や機能強化を推進します。

河川・水路、上水道、下水道

- ・山田川では、治水機能の向上と河川環境を整備します。
- ・避難所などに接続する上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・山田浄化センターなどにおいて下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・土地利用に即した下水道整備のあり方の検討を推進します。

④都市の質に関する方針

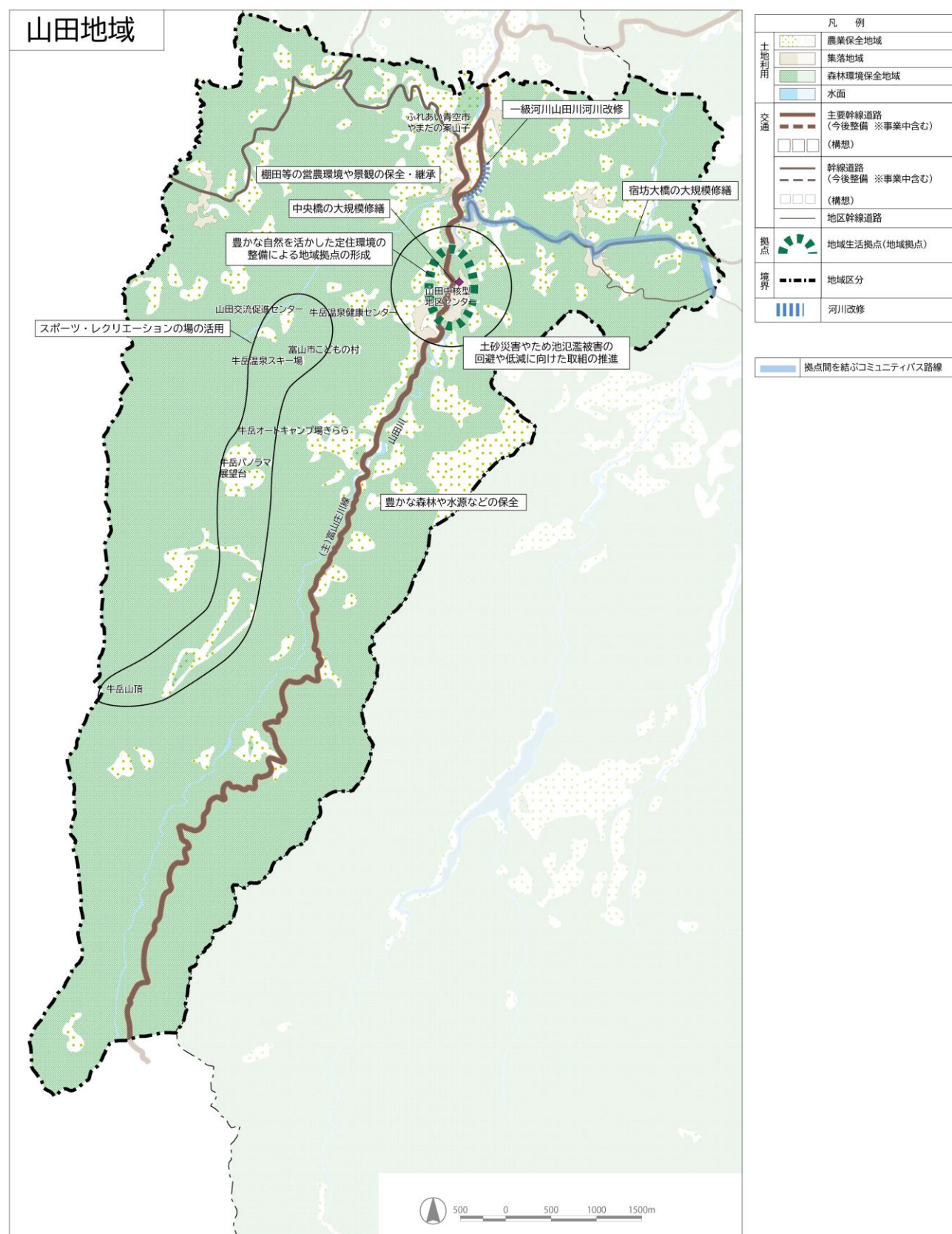
環境、景観、ユニバーサルデザイン

- ・地域生活拠点を中心に、だれもが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保や公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。
- ・特徴ある棚田景観などの豊かな自然環境や景観の保全を図ります。

防災・防犯

- ・土砂災害など危険性の高い箇所では、新たな建築の規制や建築物の構造規制などを推進するとともに、災害リスク情報の周知・啓発などにより被害を回避・軽減するための取組を推進します。
- ・土砂災害のリスクのある山田川流域の中村地内などでの土石流対策や湯地区などでの地すべり対策を促進します。
- ・居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

■まちづくり方針図



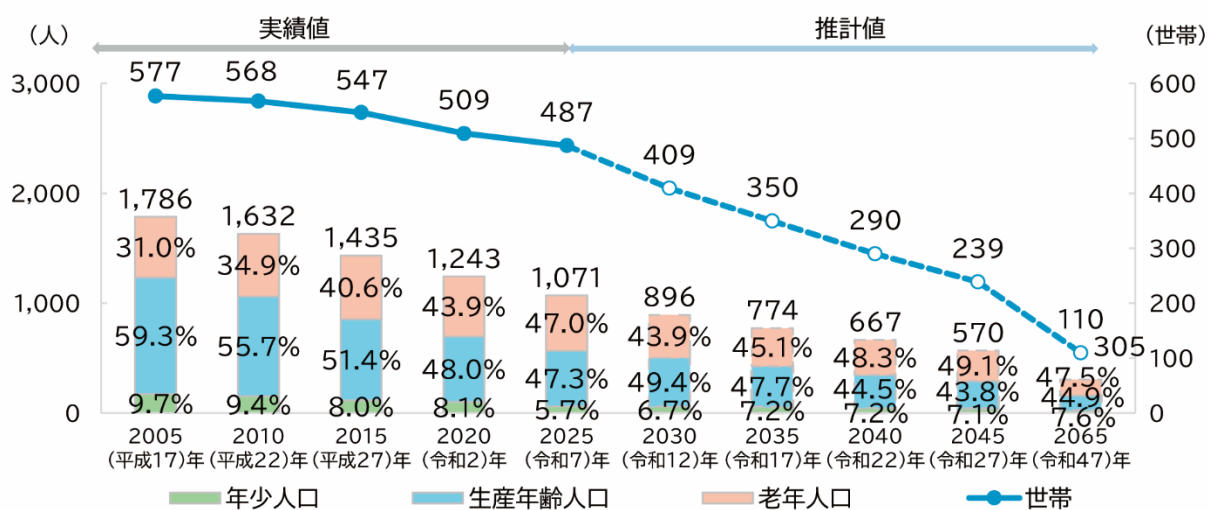
14 細入地域

(1) 地域の現状

①人口・世帯数

人口と世帯数は既に減少しており、2025（令和7）年の人口は1,071人、高齢化率は47%であり、今後、人口は半数程度となり、高齢化率は5割近くとなる見込みです。

■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

②歴史・文化

地域内には、県指定の史跡である猪谷関跡のほか、猪谷関所館などが立地しており、歴史文化の拠点となっています。

また、古くから伝わる獅子舞やお祭りが地域の伝統文化として残っています。

③自然・レクリエーション・景観

神通川沿いの自然を活かした温泉施設やキャンプ場、道の駅があり、観光や自然のアクティビティを楽しむことができ、市民の余暇や来街者の長期滞在などでの利用が進んでいます。

また、自然が作り上げた溪谷美「神通峡」では、四季折々の豊かな自然景観に出会うことができます。

④公共交通

J R 高山本線の楡原駅と猪谷駅が立地しています。

⑤土地利用

地域内の大部分が自然的土地利用を占め、住宅用地はごく一部となっています。

⑥災害リスク

中山間地域に位置し、土砂災害の影響が懸念されます。

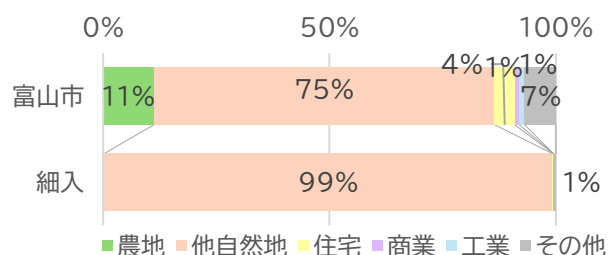
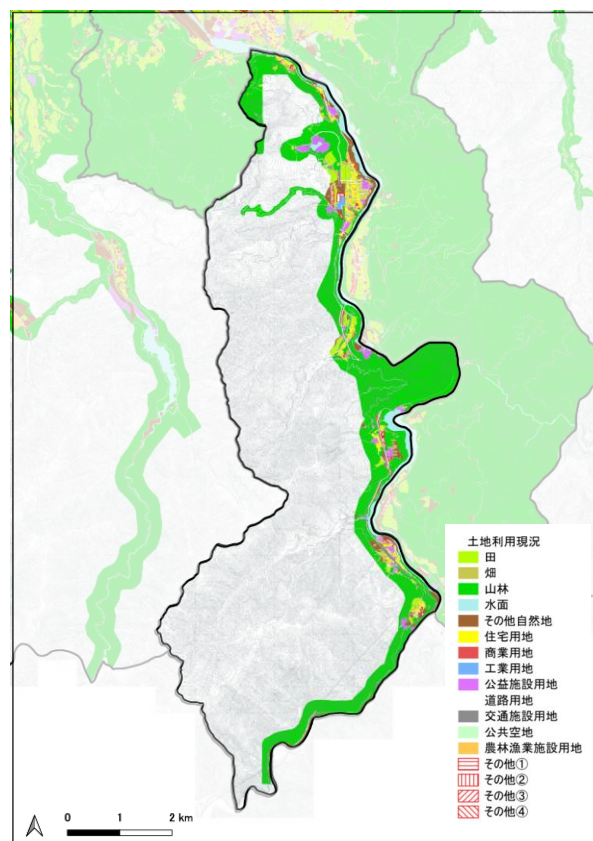
⑦生活行動

日常の買い物の9割以上、通勤・通学の7割以上が他地域に行われています。なお、大沢野地域が主な行先となっています。

⑧地域のつながり

地形や環境、市民の生活行動から、大沢野地域との強いつながりがあります。

■土地利用現況と面積比率



出典：都市計画基礎調査（令和5年度）

<市民ワークショップでの提案>

《地域の魅力》	<p>◇充実した広域交通 （富山市中心部や大沢野から飛騨や名古屋までをつなぐ国道41号やJR高山本線）</p> <p>◇歴史文化拠点の点在、気ままな暮らし （地域の獅子舞や重忠祭りなどの伝統文化、神通峡をはじめとした豊かな自然、キャンプ場や温浴施設などの施設、森林に囲まれた静かな生活など）</p>
《20年後の地域の将来イメージ》	『若者が集うまち』

(2) まちづくりの目標

細入地域では、神通峡の景勝やレジャー施設、飛騨街道の歴史・文化資源、道の駅などを活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。

i) 神通峡の景勝やレジャー施設を活かした楡原駅周辺での地域拠点の形成

J R 高山本線楡原駅周辺において、生活機能などの維持と、神通峡の景勝や豊かな自然環境、キャンプ場や温浴施設などを活用し、市民や来街者の都市活動の創出を図ります。

ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成

J R 高山本線の活性化と連携した既存集落の利活用により、良好な居住環境を形成します。

iii) 飛騨街道の歴史・文化資源、交流の場の活用

J R 高山本線猪谷駅周辺の猪谷関所館や道の駅、各所に残る歴史・文化の資源などを活用し、市民や来街者が飛騨街道の歴史・環境に親しめる場を形成します。

iv) 拠点などを結ぶ公共交通や主要な道路の適正な保全や整備

既存集落や岐阜県飛騨地域を結ぶ公共交通及び主要な道路を適正に整備・保全し、周辺地域との円滑な移動環境を形成します

v) 豊かな森林や水源など自然環境の保全

森林や水源の適正な管理を推進し、豊かな自然環境の保全を図ります。

vi) 安全・安心なまちの形成

土砂災害などのリスク回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を進めます。

(3) 分野別の方針

①土地利用の方針

農業・ 自然系	<ul style="list-style-type: none">・ 楡原駅周辺を中心に、公共交通の利用環境や生活関連機能の維持に努めます。・ 集落地域では、既存コミュニティを活かし、良好な生活環境の形成に努めます。・ 農業保全地域は、良好な営農環境を保全するとともに、粗放的な農地管理を導入するなどにより、営農環境を保全します。・ 森林環境保全地域は、豊かな自然環境や景観の保全、森林を活かしたレクリエーションの場の形成に努めます。
------------	---

②交通体系の方針

公共交通

- ・ J R 高山本線の利便性向上と持続性の確保を図るため、ダイヤの改善、老朽化した施設・設備の更新や改良などを進めます。
- ・ 生活の足を確保するため、効率的な生活交通サービスの提供を検討します。

道路

- ・ 地域高規格道路である富山高山連絡道路の(都)富山南線・猪谷楡原道路の整備を促進します。
- ・ 観光橋や神峡橋の大規模修繕など、橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。

③その他の都市機能・施設の方針

公園緑地・まちの緑、レクリエーション

- ・ 旧飛騨街道や猪谷関所館などの歴史文化資源の活用に努めます。

河川・水路、上水道、下水道

- ・ 避難所などに接続する上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・ 楡原浄化センターなどにおいて下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・ 土地利用に即した下水道整備のあり方の検討を推進します。

④都市の質に関する方針

環境、景観、ユニバーサルデザイン

- ・ 地域生活拠点を中心に、だれもが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保や公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。
- ・ 神通峡などの豊かな自然環境や景観の保全を図ります。

防災・防犯

- ・ 土砂災害など危険性の高い箇所では、新たな建築の規制や建築物の構造規制などを推進するとともに、災害リスク情報の周知・啓発などにより被害を回避・軽減するための取組を推進します。
- ・ 居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

■まちづくり方針図

